取扱説明書

保証書・据付説明書別添付

日立全自動電気洗濯機

型式

エヌダブリュー アール 7 0 1

NW-R701

このたびは日立全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・据付説明書・洗濯機設置時のチェックシート（据付確認書）とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」 ➔P.8〜10 をお読みいただき、正しくお使いください。

もくじ

ご使用の前に

お問い合わせの多い項目

● 脱水 時間のランプが全て点滅している → P.52
● すすぎ 回数のランプが全て点滅している → P.52
●糸くずや洗剤残りがある → P.15～17、57
●音や振動が気になる → P.53
● スタート 一時停止 を押したのに運転しない、給水しない → P.54、55
●運転時間が長い → P.56

お問い合わせの多い
項目をまとめました。

使いかた

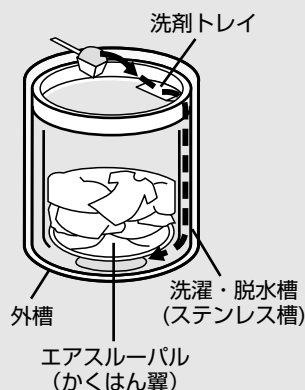
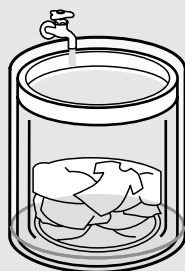
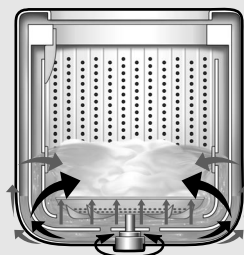
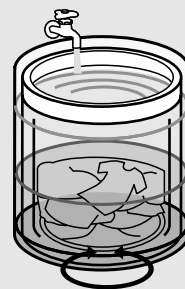
お手入れ・お困りのときは・アフターサービスなど

はじめに(特長)

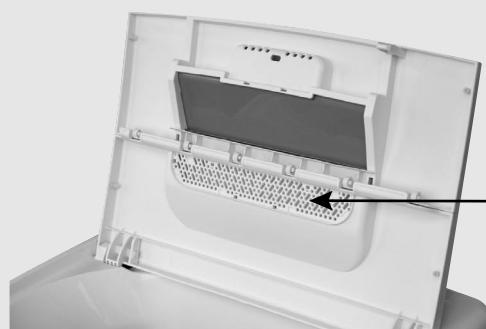
浸透洗浄

洗剤パワーを引き出して、汚れを芯から落とします

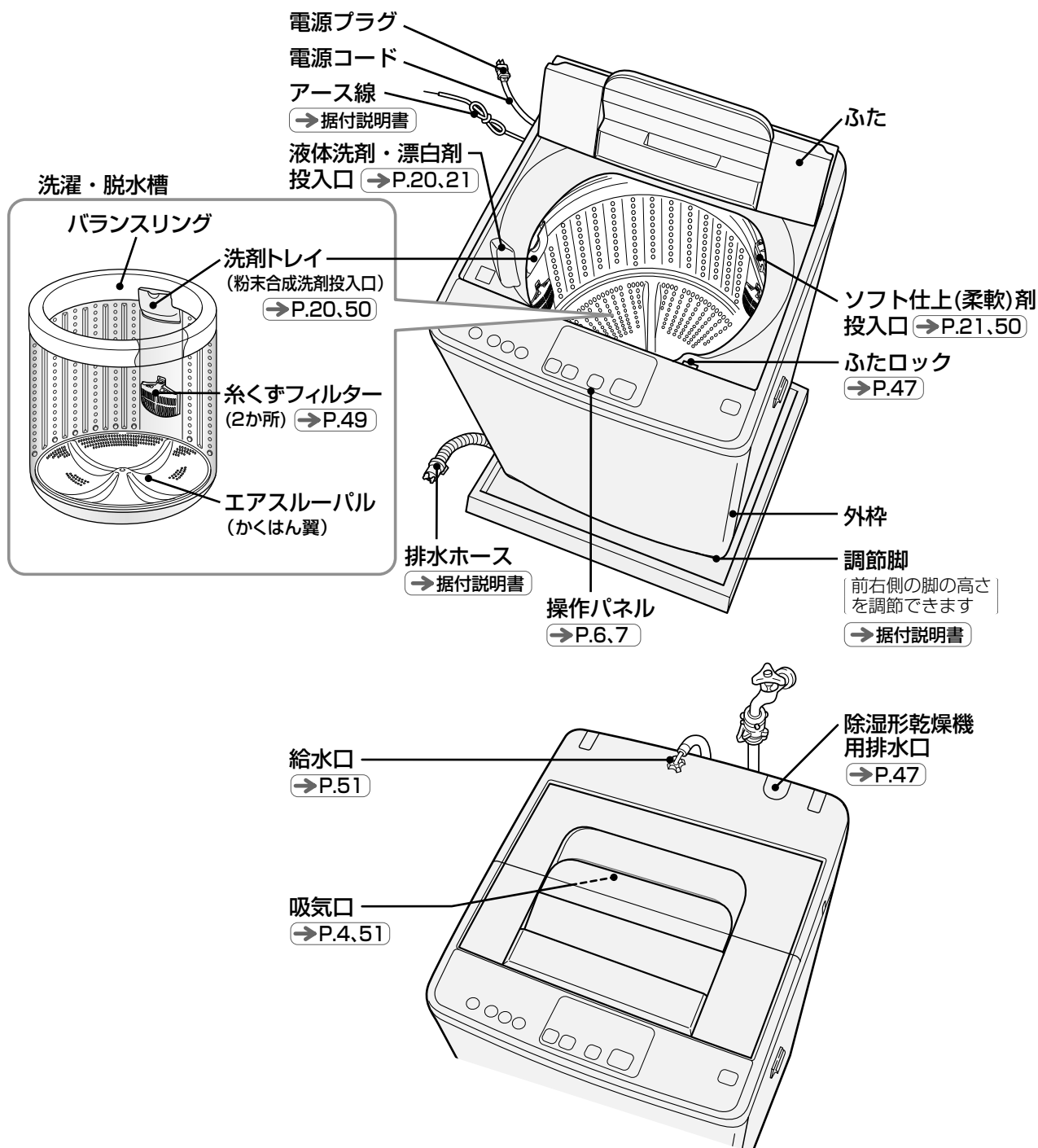
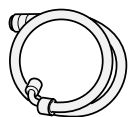
●濃縮洗剤液を衣類全体に浸透させて洗う浸透洗浄。
　濃縮によりパワーアップした洗剤が汚れを落とします。

1 洗剤を投入する
投入口から投入された洗剤が、エアスルーパルの下に落ちる。

2 水を少量給水

3 洗剤を溶かして濃縮洗剤を作り浸透させる
エアスルーパルで洗剤をかくはんして溶かし、衣類に濃縮洗剤液を浸透させる。

4 3ステップ洗い
水を少し追加して濃縮洗剤液で汚れを落とし、さらに水を追加して通常の水位で洗う。

※洗剤は洗剤トレイに入れてください。
　石けん（天然油脂）は使用できません。(溶け残ることがあるため)
　「毛布」「ドライ」「槽洗浄」コースは、浸透洗浄ができません。

ヒーターレスの〔エアジェット乾燥〕

●高速回転で空気を取り込み、洗濯物の水分を飛ばし、フラッピング(布ほぐし)を行いながら
　乾かします。

吸気口
ここから風を取り
込みます。

各部のなまえ・付属品

■ ➔ のあとの数字は主な説明のあるページです。

付属品（「据付説明書」を参照ください）

給水ホース（約0.8m）	ワンタッチつぎて	脚キャップ（高さ調整用）	水準器
8mm 4mm は脚キャップのみ		8mm / 4mm	
（1本）	（1個）	（4個）	（1個）

操作パネルのはたらき

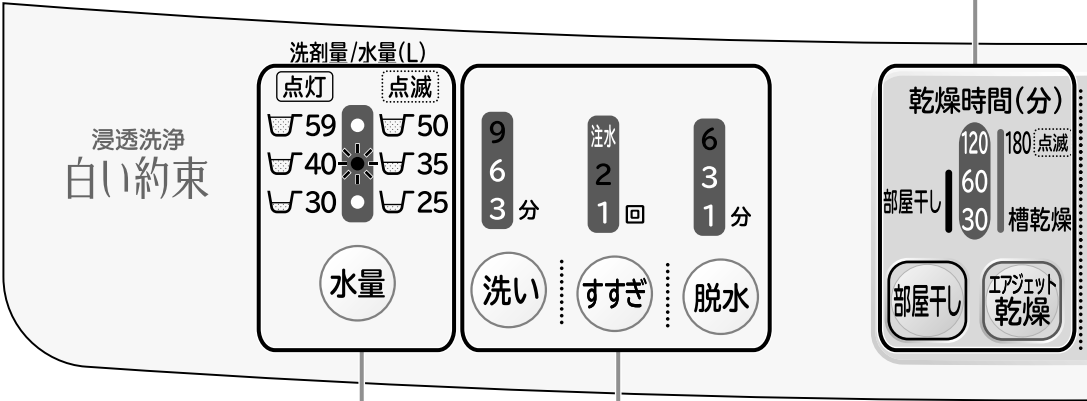
操作パネルのランプ表示について

設定や行程などをランプの点灯と点滅でお知らせします。
点灯表示 … ●
点滅表示 … ☀

乾燥時間を選ぶ

「部屋干し」「エアジェット乾燥」ボタンを押すと、乾燥時間が順に点灯します。
→P.39、42

洗濯コースを選ぶ

「洗濯」ボタンを押すと、選べるコースが順に点灯します。
→P.27

水量・洗剤量表示 →P.18、29

洗剤量はコンパクト(濃縮)粉末洗剤「アタック」を基準にしています。
お好みに合わせて水量を設定できます。

●洗いやすすぎ中に水を足したいときは、「水量」ボタンを押します。押している間給水します。(各コースの最高水量以上は給水しません) →P.44

運転内容を変える →P.28、40、41

「洗い」「すすぎ」「脱水」の内容や組み合わせを切り替えます。

●「スタート」後は、「スタート/一時停止」ボタンを押して変更します。「洗い」が終わると変更できません。
●給水開始から設定水位に達する間は、各ボタンの変更はできません。
●内容を変更できないコースもあります。

■電源を入れたあと3秒押し操作で設定が変わるボタン

ボタン	内容	ボタン	内容
水量	操作ボタンの受付音を変えることができます。→P.46	洗い	いたずら防止モードの設定、解除ができます。→P.47
脱水	ほぐし脱水の設定、解除ができます。→P.46	スタート一時停止	運転終了音の解除、設定ができます。→P.46

スタート／一時停止

運転のスタートや、一時停止を行います。

電　源

電源の入・切を行います。

●運転が終了すると運転終了音が鳴って、自動的に電源は切れます。(電源オートオフについて➔P.52)

●スタートさせずに5分間放置すると自動的に切れます。

●電源を切ったあと、約5秒間はボタン操作を受け付けません。再度電源を入れたいときは、洗濯コースランプ消灯後、電源ボタンを押してください。

※操作パネルは「標準」コース(水量35L)の例です。

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

電源プラグや電源コードは

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセントが異常発熱して、発火することがあります。

●電源プラグを抜くときは、きちんと電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火することがあります。

●電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。

●お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。

●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。

●傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

●電源コードを傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない〕
電源コードが破損し、発煙・発火の原因になります。

●テーブルタップによるタコ足配線はしない
発煙・発火の原因になります。

●延長コードは使用しない
過熱し、発煙・発火の原因になります。

アース線は

●アース線は取り付ける
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

⚠警告

据え付けのときは

●浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
感電や漏電による火災の恐れがあります。

●キャスターの付いている台や、不安定な場所に据え付けない
本体の異常振動により、けがや本体故障の原因になります。

洗濯物や洗剤は

●食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイル、軟こう剤などの付着した洗濯物、くつ(スニーカー)、帽子などは洗濯後でも衣類乾燥機で乾燥しない。また、スポンジの入ったものも乾燥しない
油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

●洗剤を入れすぎない
洗剤は表示に従って適量を入れてください。
泡が大量に発生して本体が故障し、水漏れや感電をする恐れがあります。

運転中、運転後は

●洗濯・脱水槽が完全に止まるまでは、中の洗濯物に手などを触れない
緩い回転でも洗濯物が手に巻きついて大けがをする恐れがあります。
特にお子様にはご注意ください。

本体の近くには

●引火物は洗濯・脱水槽に入れない、近づけない〔灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールやそれらの付着した洗濯物〕
爆発や火災の恐れがあります。

●ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近づけない
火災の恐れがあります。

●操作パネル部付近には、磁石などの磁気を帯びたものを近付けない
ふたが開いた状態でも、洗濯・脱水槽が回転することがあります。

●子供に洗濯・脱水槽の中をのぞかせない。また、本体の近くに台を置かない
洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをする恐れがあります。

そのほか

●同梱品が梱包されているポリ袋は、小さい子供や乳児の手の届かないところに置く
ポリ袋を頭にかぶると、窒息する恐れがあります。

●動かなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する
感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

●分解したり、修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
(修理は販売店などにご相談ください)

●お手入れするときなどは、本体各部に直接水をかけない
ショート・感電の原因になります。

●揮発性溶剤(ガソリン、ベンジン、シンナー、灯油など)や、カセイソーダで洗ったりしない
爆発・火災の原因になります。

安全上のご注意(続き)

⚠注意

洗濯物は

●防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・乾燥をしない
洗濯物が傷んだり、脱水中に異常運転して、けがをする恐れがあります。

例えば
釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、おむつカバー、紙おむつ、自転車・バイク・自動車カバー、防水性マット・シート、足ふきマットなど固くて厚いものなど

運転前後、運転中は

●洗濯・乾燥前は水栓を開いて、水漏れがないか確認する
ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
水栓のパッキンや金属部などが、長年使用していると経年劣化やさびなどにより水漏れに至る恐れがあります。

●使用しないときは、水栓を閉じておく
万一の水漏れを防ぐためです。

●据え付け直後や移設直後など、水栓接続を変えたあとには、まず水栓を開いて、水漏れがないか確認する
万一の水漏れをすぐに確認するためです。

●ロックされた状態のふたを無理に開けない ➔ P.47
ふたロックが破損し、けがをしたり洗濯・乾燥ができなくなります。

●運転中は本体の下に手足などを入れない
けがの原因になります。

●ふたは取っ手以外を持って開け閉めしない
ふたの側面や折りたたみ部分を持つと、指や手をはさむ恐れがあります。

そのほか

●給湯機からの温水は使用しない
本体の故障や水漏れの原因になります。

●本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない
本体の故障や水漏れの原因になります。

●50℃以上のお湯は使用しない
本体の故障や水漏れの原因になります。

●ふたなどのプラスチック部や本体に洗剤(特に液体の洗剤)やソフト仕上(柔軟)剤、漂白剤がついた場合は、湿った柔らかい布ですぐにふきとる
本体のさびの発生、破損、プラスチック部破損の原因となり、けがをする恐れがあります。

●防水パンや洗濯機トレーを設置する
床面の汚れ、ぬれを防ぐためです。

●排水口が掃除できるように設置する
排水口が詰まると、排水不良による排水口からの水漏れの原因になります。
排水ホースを排水口から外し、再度排水ホースを差し込む場合は、排水ホース先端が排水配管に確実に差し込まれているか確認してください。(水漏れの原因になります) ➔ 据付説明書

使用上のご注意

■運転中は電源プラグを抜かない

●故障の原因になりますので、一時停止あるいは電源を「切」にしてから、プラグを抜いてください。

■テレビやラジオを近づけない

●テレビ画面が乱れたり、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

■操作パネル付近に磁石、磁気カード（キャッシュカードなど）を近づけない

●誤動作が起きたり、カードが使えなくなることがあります。

■断水後や一度給水ホースを外して再取り付けした場合は、水栓を閉め、「槽洗浄」コースを選んでスタートボタンを押してからゆっくり水栓を開く
(長期間使用しなかった場合も同様)

●給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により、本体が破損し、水漏れやけがをする恐れがあります。

■洗濯物は入れ過ぎない

●洗濯物が洗濯・脱水槽からはみ出して破れたり、プラスチック部品の破損の原因になります。
●洗濯時間が長くなったり、洗濯ムラや乾燥ムラになることがあります。

■「エアジェット乾燥」コース運転中の換気は十分に

●洗濯物を効率よく乾燥させるために換気を十分にしてください。
●冬期など室温が低いとき、換気が不十分なときは、窓や壁などが結露する場合があります。

■結露に注意

●夏季など湿度が高いとき、冷水などの使用で本体の外側が結露し、床面をぬらすことがあります。
●防水パン(TP-780)、洗濯機用トレー（YT-1）のご使用をおすすめします。 ➔ P.61

■入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従う

●色移りや変色などを防ぐためです。
●発泡タイプ、ゼリータイプ、とろみタイプの入浴剤は風呂水を吸水できない場合がありますので、使用しないでください。

■お洗濯キャップ(別売り)は斜めに取り付けない。また、「毛布」「ドライ」コース以外では使用しない

●お洗濯キャップの飛び出しによりけがをしたり、本体が破損する恐れがあります。

■排水口(排水トラップ)は定期的に清掃する（1回/月）

●糸くずや異物詰まりにより、水漏れなどの原因になることがあります。

お洗濯の手順

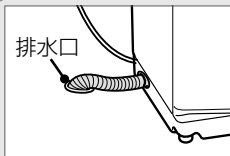
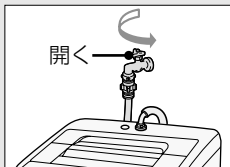
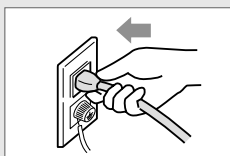
26~36ページ 洗濯をする　洗濯

38ページ 洗濯～乾燥をする　洗濯　部屋干し

42ページ 乾燥をする　エアジェット乾燥

準備をする

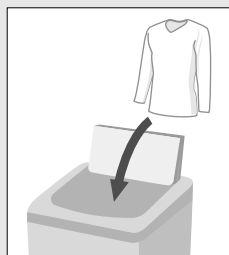
本体

1 排水ホースをセット

2 水栓をゆっくり開く

3 電源プラグをコンセントに差し込む

4 糸くずフィルターが取り付いていることを確認する

洗濯物

➔P.14～17

1 洗濯物を仕分ける前処理する

2 洗濯・脱水槽に入れる

洗濯物にあったコースを設定する

➔P.26～43

1 電源を入れる

2 コース・機能を設定する

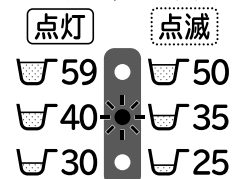
3 運転をスタートする

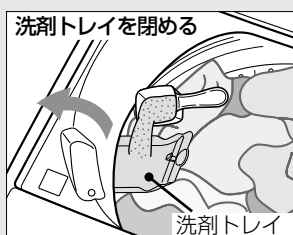
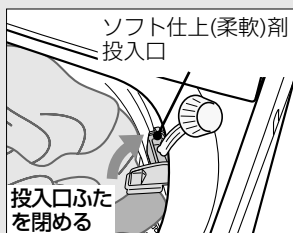
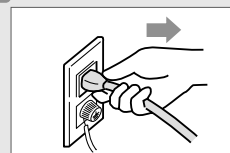
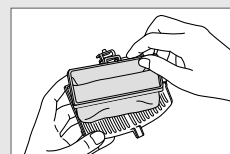
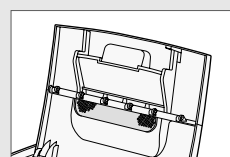
洗濯物量を計測する

水が入る前に約20秒かくはんして計測します

水量を表示

洗剤量/水量(L)

点灯		点滅
59	●	50
40	✳	35
30	●	25

「標準」コース(水量35L)の例

洗剤・ソフト仕上(柔軟)剤・漂白剤を入れる
洗剤投入の流れについては
➔P.18～21
1 洗剤を入れる
洗剤トレイを閉める
洗剤トレイ
2 漂白剤を入れる場合
液体洗剤・漂白剤投入口
3 ソフト仕上(柔軟)剤を入れる場合
ソフト仕上(柔軟)剤投入口
投入口ふたを閉める
4 ふたを閉める
洗い
すすぎ
脱水
乾燥
設定内容を自動運転する
●洗剤を溶かす
●洗う
9
6
3 分
洗い
●すすぐ
注水
2
1 回
すすぎ
●脱水する
6
3
1 分
脱水
●脱水する
6
3
1 分
120
60
30
180 点滅
部屋干し
槽乾燥
脱水
部屋干し
●乾燥する
120
60
30
180 点滅
部屋干し
槽乾燥
エアジェット乾燥
片づけやお手入れをする
お手入れについては
➔P.27、49～51
1 水栓を閉める
閉める
2 電源プラグを抜く
3 糸くずフィルター、吸気口のお手入れをする
糸くずフィルター ➔P.49
吸気口 ➔P.51

洗濯や乾燥ができないもの

ご注意 ●取扱絵表示および説明書を確認してください。

次の物は洗濯も乾燥もできません

■縮み、型崩れ、変色、損傷、風合い劣化などを防ぐために

●皮革・毛皮・羽製品、およびその装飾品付き製品

●レーヨン、キュプラおよびその混紡品
・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。

●絹製品
・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。

●和服、和装小物製品

●強くよじった糸(強撚糸)を使用した製品(ウール、ちりめんなど)

●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工をした製品

●ベルベットなどのパイル地製品

●ネクタイ、スーツ、コート
・縮んだり、型くずれする場合があります。

●洗濯絵表示（ドライ セキユ系）のあるものや、取扱絵表示がないもの、素材表示がないもの

●毛100%や毛足10mm以上の毛布、カーペットカバー

■脱水異常振動によるけがや、故障などを防ぐために

●防水性製品 → P.10
・洗濯物が片寄りやすく、本体の故障、洗濯物の破れの原因になります。

●裏面にゴムが付いているマット類、厚手または毛足の長いマット類(玄関マット、カーペット、ラグマット、敷物など)
・洗濯物が片寄りやすく、本体の故障の原因になる恐れがあります。

●ペットの毛が多量に付着したもの
・排水口の詰まりの原因になります。

●市販の洗濯補助具
(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)

●座布団や枕、クッションなど

●靴

次の物は乾燥できません

●のり付けしたもの

●ゴム類やゴムなどをコーティングした製品
※商品の取り扱い表示に従ってください。

●ウレタン(スポンジ類)の入ったもの(ぬいぐるみなど)

●縮みやすいもの

●ふとん類や枕など、わたを使用した製品

●「タンブラー乾燥はお避けください」などの表示があるもの

●濃い色のプリントもの

●タイツ、レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品：新合繊(超極細繊維)

●ウールなどの獣毛およびその混紡製品

●下のいずれかの表示があるもの

※本文中の乾燥とは、「部屋干し」と、「エアジェット乾燥」運転のことです。

上手なお洗濯のポイント

洗濯の準備をするときは

糸くずが気になるものはネットに入れる

●コーデュロイ（起毛素材の衣類）や濃い色の衣類、ストッキングなど、糸くずの付着が気になる衣類は、市販の「糸くず防止用洗濯ネット」に入れて洗ってください。

デリケートな衣類はネットに入れる

●レースのついた衣類やブラウス、ストッキング、タイツなどは、市販の「洗濯ネット」に入れてください。

●ワイヤー入りブラジャーは、市販の「ブラジャー専用ネット」に入れてください。

色落ちしやすいものは分けて洗う

●著しく色落ちする衣類は分けて、同類の衣類を2～3枚まとめて洗ってください。

大きなゴミ、どろや砂、髪の毛、ペットの毛は取り除く

●排水経路にゴミや異物が詰まり、故障の原因になります。

硬貨やヘアピンなどは取り除く（ポケットの中も忘れずに）

●衣類を傷めたり、故障の原因になります。

ひもは結んで、ファスナーは閉める

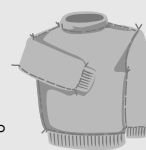
●ファスナーなどによる洗濯物の傷みや、本体の故障を防ぐためです。

しみは早めに処理しておく

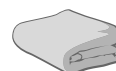
●しみは時間がたつと落ちにくくなりますので、洗濯前に部分洗い洗剤などで処理しておくと、より効果的です。

毛玉や糸くずが気になるものは裏返す・分けて洗う

●セーターなど糸くずが気になるものは裏返してください。

●気になるものは、タオル、バスタオルとは分けて洗ってください。

洗濯物の重さの目安

ブリーフ
（綿100%　約50g）

長袖肌着
（綿100%　約130g）

バスタオル
（綿100%　約300g）

靴下
（混紡　約50g）

ブラウス
（混紡　約200g）

パジャマ
（上・下）
（綿100%　約500g）

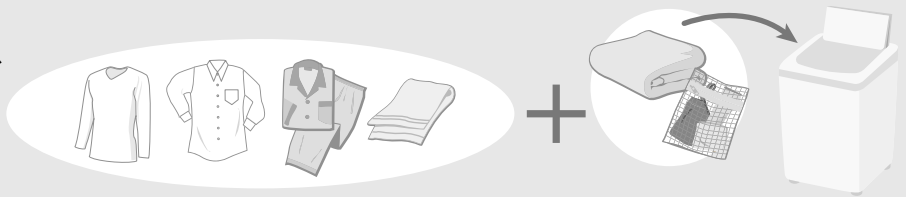
タオル
（綿100%　約70g）

ワイシャツ
（混紡　約200g）

シーツ
（綿100%　約500g）

上手なお洗濯のポイント(続き)

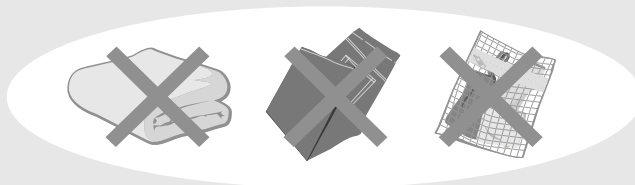
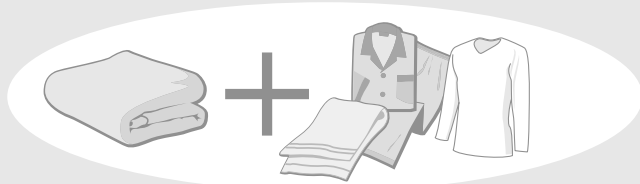
洗濯・脱水槽への入れかた

厚手の洗濯物や、洗濯ネットに
入れた洗濯物は、先に入れてから、
ほかの洗濯物を入れてください。

洗濯物は、重いものが
片寄らないように均等
に洗濯・脱水槽に入れる

洗濯物は詰め込み過
ぎないでください。

スムーズに脱水するには

洗濯物の片寄りが起こると、自動で片寄りを修正する動作を行うため、運転時間が長くなり、
水を多めに使用します。
また、脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。
下記のことにご注意ください。

●タオルケットやジーンズなど厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物は、**一つだけでは洗濯しないでください。**

●厚手の洗濯物や、洗濯ネットに入れた洗濯物を洗うときは、**2、3枚一緒に洗うか、ほかの洗濯物と一緒に洗ってください。**

洗濯するときは

タオルなどのゴワゴワ感が気になるとき

タオルなどはパイルが寝て、ゴワゴワすることがあります。

●水量を多くして運転しましょう。
たっぷりの水で運転するので、仕上がりがよくなります。

水量を多くする

●ソフト仕上(柔軟)剤のご使用もおすすめです。

糸くずが気になる衣類は

食べこぼしや糸くずなどの固形の汚れが衣類に残りやすいことがあります。

●糸くずが気になる場合には、水量を高めに設定したり洗濯時間の延長、すすぎの回数を増やすと糸くずが取りやすくなります。

水量を多くする

すすぎ回数を増やす

色落ちしやすい衣類は

かくはん翼でこすられると、色落ちすることがあります。

●水量を多くして運転しましょう。

水量を多くする

シワが気になる衣類は

衣類の種類によっては、シワがつきやすいものがあります。

●水量を多くして運転しましょう。

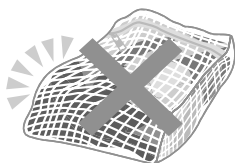
水量を多くする

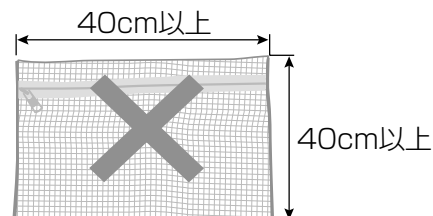
色移り・黒ずみを防ぐには

●色落ちしやすいものは分けて洗ってください。
●洗剤やソフト仕上(柔軟)剤は適量を入れてください。

※洗剤が少なかったり、ソフト仕上(柔軟)剤を入れ過ぎたりすると、黒ずみの原因になります。

洗濯ネットを使うときのお願い

●ネットには衣類を詰め込み過ぎないでください。

●ネットのファスナーはきちんと閉めてください。

●一辺が40cm以上の大きなネットは使用しないでください。衣類が片寄り、運転できないことがあります。

洗剤や仕上剤の準備と入れかた

洗濯量の計測と水量・洗剤量表示

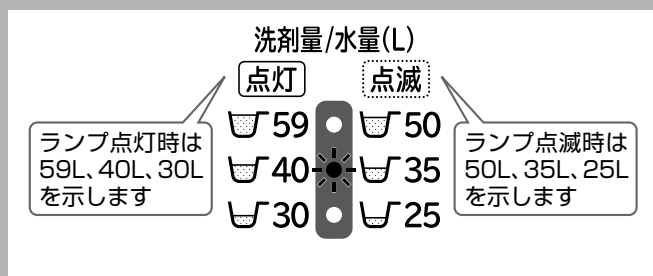
1 洗濯物を入れてお好みのコースを設定し、スタート一時停止 ボタンを押すと…

▼ かくはん翼と洗濯・脱水槽が回転し、洗濯物の量を計測する

水が入る前に約20秒かくはんして計測します

▼ 洗濯量に応じた水量と洗剤量を表示する

「標準」コース(水量35L)の例

2 右表を参考に洗剤、ソフト仕上(柔軟)剤、漂白剤を入れる → P.20、21

ご注意

- 「UVカット」「美白系UVカット」は泡立ちが良すぎるため、ご使用できません。
- 右表内の※の洗剤については、2割減らしてご使用ください。
- 「防臭柔軟剤レノア」は薄めずに使用してください。固まったり、衣類のしみの原因になる場合があります。

洗濯量(目安)	水量	洗剤量目安表示
7kg	59L	
5kg	50L	
3kg	40L	
	35L	
2kg		
	30L	
1kg	25L	

洗濯量について

- 表の洗濯量はJIS(日本工業規格)で規定された布地を洗濯した場合のものです。
  洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯量が変わります。
  通常の衣類では洗濯量は表示の7〜8割が適当です。
- 「エアジェット乾燥」運転での定格容量は、化繊約3kgです。

洗濯量と洗剤量・ソフト仕上(柔軟)剤量・漂白剤量

操作パネルの洗剤量／水量(L)表示に合わせて洗剤をご使用ください。

合成洗剤						石けん(天然油脂)		ソフト仕上(柔軟)剤			漂白剤
粉末		液体			液体中性	粉末	液体	濃縮		普通	
水30Lあたり		水30Lあたり				水30Lあたり		水30Lあたり			水30Lあたり
20g	25g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	40mL	7mL	10mL	20mL	40mL
アタック トップ 部屋干しトップ 消臭ブルーダイヤ アリエール※	アタック ALLin ニュービーズ ボールド※	アタック Neo トップ NANOX	アリエール イオンパワージェル トップクリア リキッド	液体ふんわりニュービーズ アタック バイオジェル 香りつづく トップ	エマール アクロン	そよ風	洗濯用 液体複合 石けん	ハミング(濃縮タイプ) ふんわり ソフラン レノア(防臭柔軟剤)	ハミングフレア しわスッキリ ソフラン 香りとデオドラ ンドのソフラン	ハミング ソフランS	手間なし ブライト ワイド ハイター
39g	49g	20mL	39mL	49mL	79mL	71g	79mL	14mL	20mL	39mL	79mL
33g	42g	17mL	33mL	42mL	67mL	60g	67mL	12mL	17mL	33mL	67mL
27g	33g	13mL	27mL	33mL	53mL	48g	53mL	9mL	13mL	27mL	53mL
23g	29g	12mL	23mL	29mL	47mL	42g	47mL	8mL	12mL	23mL	47mL
20g	25g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	40mL	7mL	10mL	20mL	40mL
17g	21g	8mL	17mL	21mL	33mL	30g	33mL	6mL	8mL	17mL	33mL

洗剤量について

家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量(水30Lに対し○○g)が表示されていないものもあります。洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にしてください。

●軽い汚れの場合は、上の表の半分程度(5～6割)が適当です。

●水に溶けにくい洗剤は、溶かしてから入れてください。➔P.20、22

●タブレット、シート、キューブタイプの洗剤は入れすぎると溶け残る場合があります。
洗剤トレイには入れないでください。

洗剤や仕上剤の準備と入れかた(続き)

洗剤～ソフト仕上(柔軟)剤投入の流れ

「毛布」「ドライ」コースの場合は、スタート前に入れる ➔P.32、34

スタート 一時停止 を押す

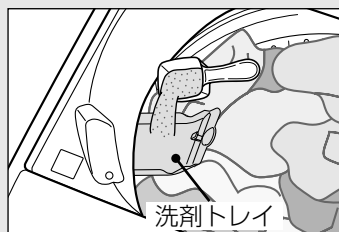
水量・洗剤量表示

洗剤投入

粉末合成洗剤

1 洗剤トレイを開ける

約50°まで開きます。無理に開けないでください。

2 洗剤を入れる

3 洗剤トレイを閉める

液体合成洗剤

液体洗剤・漂白剤投入口に、水でうすめた液体合成洗剤を入れる

石けん(天然油脂)

粉末石けん、液体石けん、複合石けんなどは、よく溶かしてから直接洗濯・脱水槽内に入れる

お願い

●洗剤トレイは確実に閉めて運転してください。(運転中に外れ、衣類を傷つけたり、破損する恐れがあります)

ご注意

●洗剤トレイやバランスリングがぬれているときは、水滴をふいてから洗剤を入れてください。

●洗剤は洗剤トレイの奥に入れてゆっくり閉めてください。洗剤が飛び散る恐れがあります。

●洗剤のこびりつきがあると、洗剤トレイを閉めても洗剤トレイ内に洗剤が残るときがあります。2、3度開閉を繰り返すか、それでも残るときは清掃してください。➔P.50

●粉末石けん(天然油脂)や複合石けん(天然油脂)などは、よく溶かしてから直接洗濯・脱水槽内に入れてください。➔P.22

●洗剤トレイに固まっている洗剤を入れると、洗剤トレイに洗剤が残るときがありますので、砕いてから入れてください。

●液体合成洗剤は、洗剤残りを少なくするため、水でうすめて液体洗剤・漂白剤投入口から静かに流し込みます。

●タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤をご使用になるときは、直接洗濯・脱水槽内に入れてください。

●洗剤の種類により、スプーン1杯の洗剤量が異なりますので、洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にし、水量表示(L)に対して入れ過ぎにご注意ください。入れ過ぎると泡による弊害(水漏れや感電)や運転時間が長くなったり、すすぎや汚れ落ちが悪くなる場合があります。

●洗濯物の量によっては、洗剤トレイが開けにくい場合があります。このような場合は、洗濯物を洗剤トレイの反対側によせて、洗剤トレイを開けてください。

約1分間 → 給水開始

漂白剤投入 → ソフト仕上(柔軟)剤投入

漂白剤

洗剤を入れたあと、液体洗剤・漂白剤投入口に、水でうすめた液体漂白剤を入れる

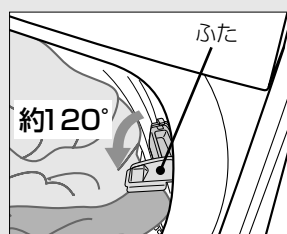
■粉末漂白剤

直接洗濯・脱水槽に入れます。

ご注意

- ●使用量および使いかたについては、漂白剤の表示に従ってください。
- ●液体漂白剤は直接洗濯物にかけないでください。変色、布破れの原因になります。
- ●塩素系の漂白剤を入れたまま長時間放置しないでください。
- ●液体洗剤・漂白剤投入口の周囲に漂白剤をこぼさないように注意してください。

ソフト仕上(柔軟)剤

1 ソフト仕上(柔軟)剤投入口のふたを開ける

約120°まで開きます。無理に開けないでください。

2 ソフト仕上(柔軟)剤を入れる

(濃縮タイプは2倍に薄めてください)

ご注意

- ●「防臭柔軟剤レノア」は薄めずに使用してください。固まったり、衣類のしみの原因になる場合があります。

3 ソフト仕上(柔軟)剤投入口のふたを閉める

ご注意

- ●洗剤やソフト仕上(柔軟)剤で香りの強いものや粘性の高いもの、天然油脂を使用した洗剤を使用すると、においが気になる場合があります。気になる場合は、量を減らすか洗濯・脱水槽をお手入れしてください。➔P.48
- ●ソフト仕上(柔軟)剤の「1回の投入量」は40mL以下にしてください。多く入れても有効に働きません。
- ●ソフト仕上(柔軟)剤を投入したまま、長時間(12時間以上)放置しないでください。ソフト仕上(柔軟)剤投入口の中で固化し、動作不良の原因となります。
- ●洗濯機が傾いていたり、給水中に洗濯・脱水槽を傾けたりすると、ソフト仕上(柔軟)剤投入口に水が入る場合があります。
- ●ソフト仕上(柔軟)剤投入口をお手入れ ➔P.50 したときは、ソフト仕上(柔軟)剤投入口のふたを元に戻してください。

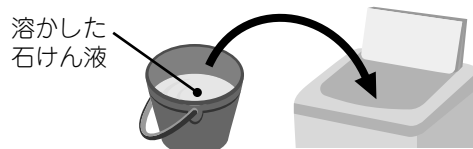
洗剤や仕上剤の準備と入れかた(続き)

石けん(天然油脂)の使いかた

石けん(天然油脂)は、洗剤トレイに入れないでください。(溶け残ることがあるため)
次のいずれかの方法でよく溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。

バケツなどで溶かす

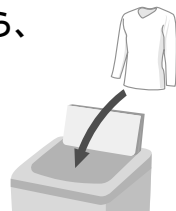
1. バケツなどに、30℃ぐらいのぬるま湯を約5L用意する
2. ぬるま湯に石けん(天然油脂)を少しずつ入れながら、十分に溶かす
   - ●石けん(天然油脂)が固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かす。

3. 切/入 を押し、電源を入れる
4. 洗濯・脱水槽に洗濯物を入れ、お好みのコースを選ぶ
5. スタート一時停止 を押す
6. 給水開始後、スタート一時停止 を押し、一時停止する
7. ふたを開け、溶かした石けん液を洗濯・脱水槽に入れ、ふたを閉め スタート一時停止 を押し、運転を再開する

洗濯・脱水槽で直接溶かす

1. 切/入 を押し、電源を入れ、
   洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ
2. 「水量」「洗い」のボタンを押し、「水量25L」「洗い3分」を設定する ➔ P.40

水量	洗い
25L	3分

3. スタート一時停止 を押し、運転を開始する
4. 給水後、かくはんが始まったら、スタート一時停止 を押し、一時停止する
5. ふたを開け、石けん(天然油脂)を入れ、ふたを閉め スタート一時停止 を押し、運転を再開する
6. 運転終了後、電源が切れたら、再度電源を入れる
7. 洗濯物を入れて、お好みのコースを選ぶ
8. スタート一時停止 を押し、運転する

※水が入っていますので、水量が多めに表示されることがあります。その場合は手動で水量を設定してください。 ➔ P.29

ご注意

- ●石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎは十分行ってください。よくすすがないと黄ばみや、においの原因になることがあります。
- ●使用量が多すぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けん分がホースや洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
- ●石けん(天然油脂)を使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかす(金属石けん)の発生を抑えることができます。
- ●石けん(天然油脂)は石けんかすが発生しやすいため、1か月に一度を目安に洗濯槽クリーナー ➔ P.63 を使い、「槽洗浄」 ➔ P.48 コースでのお手入れをしてください。
- ●合成洗剤のみの場合は、「洗濯・脱水槽で直接溶かすとき」に記載の方法で運転しないでください。泡による弊害が起こる場合があります。
- ●液体石けん(天然油脂)は、水で溶かしたまま放置しないでください。固まる恐れがあります。

次の場合は石けん(天然油脂)を使用しないでください。

●「予約9時間後」コースのとき
洗濯・脱水槽内で固まる恐れがあります。

●「ドライ」「毛布」コースのとき
つけおき洗いにより、黄ばみや黒ずみの恐れがあります。

洗濯のりの使いかた

洗濯のりについて

化学合成のり（酢酸ビニール系、PVAc）と表示されているものに限ります。

●上記以外の洗濯のりは、故障の原因となる恐れがありますので、成分表示をご確認ください。
※PVA(ポリビニルアルコール)は使用しないでください。十分なのり付けができなくなる場合があります。

洗濯のりの量

洗濯のりに表示されている分量を目安にしてください。

のり付けできる洗濯量

1.2kg以下（洗濯物の重さの目安 ➔ P.15）

のり付け運転

1. 切/入 を押し、電源を入れる
2. 洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ
3. 水量 を押し、「25L」を選ぶ
4. 洗い を押し、「3分」を選ぶ
5. スタート一時停止 を押す

   スタート一時停止 を押したあと、給水が始まったら一時停止し、直接洗濯・脱水槽に洗濯のりを入れ、再度 スタート一時停止 を押します。

6. 洗濯のりが溶けたら電源を切り、のり付けしたい衣類を入れる
7. 「洗い」→「脱水」を運転する ➔ P.40

   <衣類の量が1.2kgの場合>

水量	洗い	すすぎ	脱水
40L	6分	設定なし	1分

   に設定する。

   水量は衣類の量に応じて調整してください。

ご注意 ●のり付けした衣類は「エアジェット乾燥」コースで乾燥しないでください。シワの原因になります。

のり付けしたあとは：洗濯・脱水槽にのりが残るので、洗い流してください。

1. 切/入 を押し、電源を入れる
2. 洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ
3. 水量 を押し、「59L」を選ぶ
4. ふたを閉め、スタート一時停止 を押す

念入りに洗い流したいときは

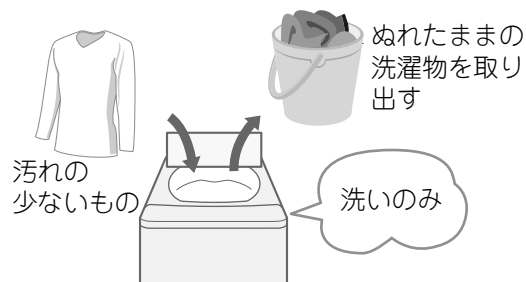
1. 電源を入れ、「槽洗浄」コースを選ぶ
   （市販の塩素系漂白剤や洗濯槽クリーナーは使用しないでください）
2. ふたを閉め、スタートボタンを押す

ご注意 ●洗剤、衣類は入れないでください。

洗濯液を2度使う

1. **1回目は汚れの少ないものを**

   洗いのみ で洗う ➔ P.40

   水量に合わせて洗剤を入れます。

2. **2回目は汚れの多いものをお好みのコースで洗う**

   洗濯物に応じた水量を設定します。

3. **1回目の洗濯物を**

   すすぎ→脱水 運転する ➔ P.40

   1回目と同じ水量を選びます。

お湯を使う(風呂水など)

1 切/入 を押し、電源を入れる

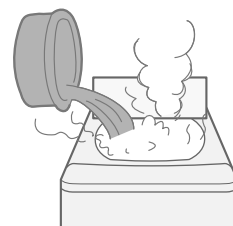
●電源を入れたまま、5分以上放置しないでください。
電源オートオフにより、5分以上放置すると自動的に電源が切れます。 ➔ P.52

2 洗濯 を押し、お好みのコースを選ぶ

3 ふたを開け、洗濯・脱水槽に洗濯物と洗剤を入れる

●洗剤は、洗濯物の量に応じて入れてください。 ➔ P.15、18、19

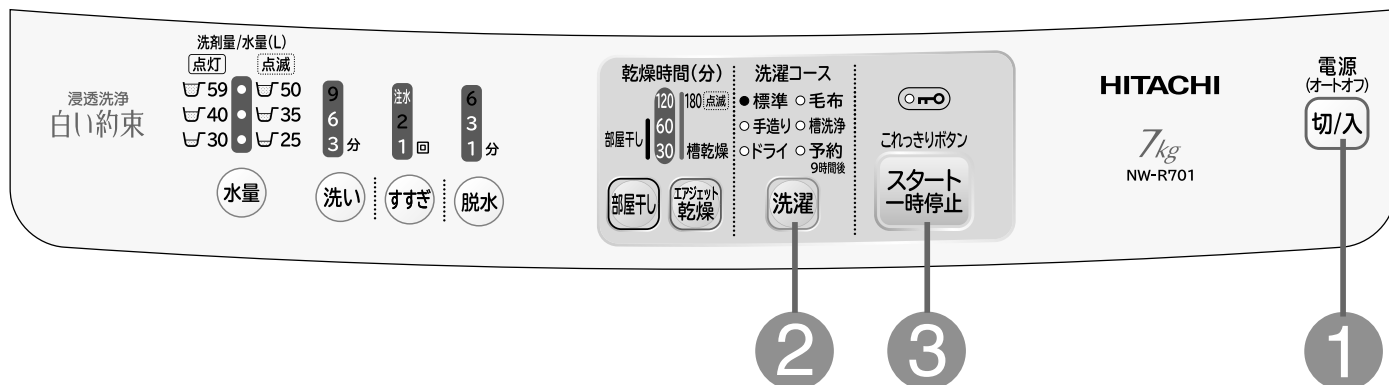
4 お湯(風呂水など)を入れる

●最低水位約25L以上入れてください。
●50℃以下のお湯をご使用ください。
※つけおき洗いする場合は、電源を切り、お好みの時間つけおきしてください。
その後、再度電源を入れ、 スタート一時停止 を押してください。

5 ふたを閉め、 スタート一時停止 を押す

●所定の水量に達していない場合は、水道水が給水されます。
●お湯が入っていますので、洗剤量/水量(L)表示が多めに表示されることがあります。
その場合は、手動で水量を設定してください。 ➔ P.29

ご注意

●最低水位約25L以上入れてください。
約25L未満ですと、排水されます。 ➔ P.27
●洗剤は入れ過ぎないでください。
入れ過ぎると発泡する恐れがあります。
●入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従ってください。
色移りや変色を防ぐためです。
●お湯(風呂水など)を洗濯・脱水槽に入れる際は、洗濯機の周囲や、操作パネルにこぼさないようご注意ください。
濡れた場合は、乾いた布でふいてください。

洗濯をする

準備 水栓を開け、洗濯物を入れる

1 切/入 を押し、**電源を入れる**

2 洗濯 を押し、**「標準」のランプを点灯させる**

■ 部屋干し ボタンを使用することができます。→P.38

3 スタート一時停止 **を押す**

洗濯物の量を測定し、水量と洗剤量を表示します。

洗剤量/水量(L)
点灯 点滅
59 ● 50
40 ● 35
30 ● 25

「標準」コース(水量35L)の例

4 水量と洗剤量表示に従って、
洗剤、漂白剤、ソフト仕上(柔軟)剤を入れて、ふたを閉める →P.18～21

※ **給水について**
給水は、水量と洗剤量表示から約1分後です。→P.20、21
この間に 水量 を押すとすぐに給水します。

コースの使い分け

こんなときに	おすすめコース	運転できるコースと洗濯容量 洗濯	部屋干し	おすすめ洗剤と漂白剤
普段の洗濯物に	標　準	7kg	設定できる	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
自分でコースを造る	手造り ➔P.28	7kg		
ドライ、ドライ 手洗イ 表示の衣類の洗濯に	ドライ ➔P.34	1.2kg	設定できない	液体中性洗剤 または ドライマーク 衣類専用洗剤
毛布、掛けふとんなど大物の洗濯に	毛布 ➔P.32	4.2kg	設定できる	液体合成洗剤 または 羽毛などは 液体中性洗剤
洗濯・脱水槽のお手入れに	槽洗浄 ➔P.48	設定できない	設定できない	洗濯槽 クリーナー または 塩素系漂白剤
出かけている間や、夜間に洗って朝干したいときに	予約9時間後 ➔P.36	7kg	設定できる	粉末合成洗剤

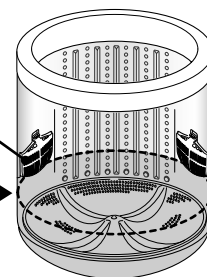
部屋干し については ➔P.38　 エアジェット乾燥 については ➔P.42　「槽乾燥」については ➔P.48

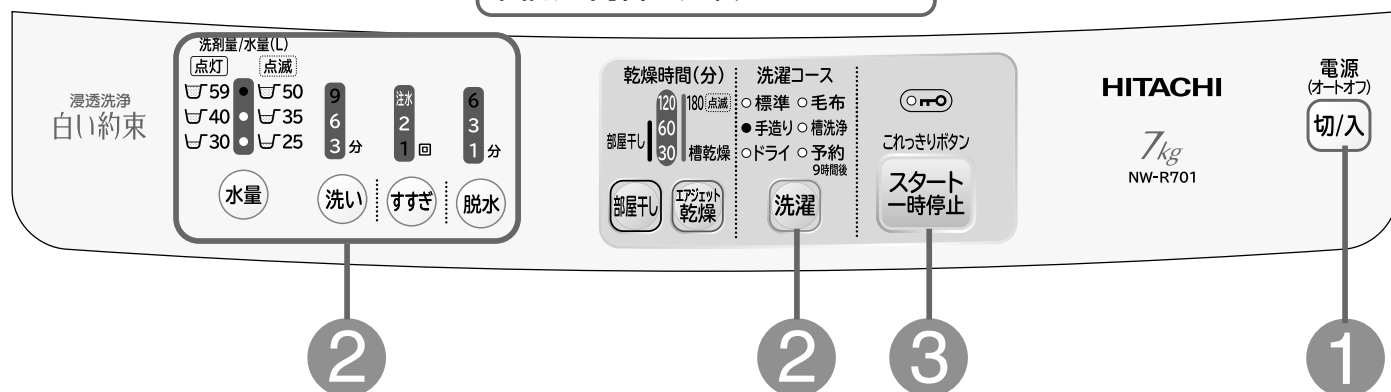
最低水位(約25L)の目安(「標準」「手造り」「予約9時間後」)

■最低水位(約25L)未満の水が入っている場合は、「スタート/一時停止」ボタンを押したあと、排水してから給水します。

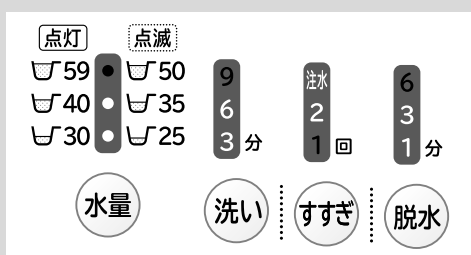
糸くずフィルター

最低水位(約25L)の目安 ▶

●糸くずフィルターの下が目安です。

自分でコースを造る

ランプが点灯している時間や回数の内容で運転します。

準備 水栓を開け、洗濯物を入れる

1 切/入 を押し、**電源を入れる**

2 洗濯 を押し、**「手造り」のランプを点灯させる**

設定内容の例

を押し、**運転内容を設定する**

■ 部屋干し ボタンを使用することができます。➔ P.38

3 スタート一時停止 **を押す**

4 水量表示を目安に、
洗剤、漂白剤、ソフト仕上(柔軟)剤を入れて、ふたを閉める ➔ P.18～21

※ **給水について**
給水は、水量と洗剤量表示から約1分後です。➔ P.20、21
この間に 水量 を押すとすぐに給水します。

コースの使い分け

●「手造り」コースの内容は記憶されます。(ほかのコースで設定した内容は記憶されません)
●繰り返し使うコースは「手造り」コースを使うと便利です。

内容の変えかた

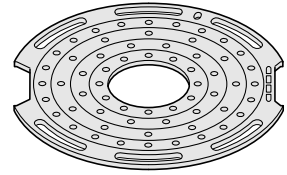
■各ボタンを押すごとにランプの表示が変わります。　　　　工場出荷時の設定です。

毛布やドライマーク付き衣類の洗濯をする

洗濯物の準備

■「毛布」または「ドライ」コースで洗濯するときは、別売りの「お洗濯キャップ(MO-F77)」が必要です。➔ P.61

●お洗濯キャップを使用せずに洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損する恐れがあります。

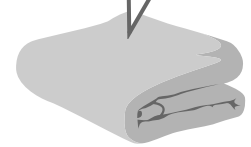
※お洗濯キャップの取り付け・取り外しかたについて ➔ P.33、35

「毛布」コースで洗濯する場合

洗濯できるもの

■洗濯できる毛布

● 手洗イ と表示されている毛布

●アクリル、またはポリエステルのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布（幅180cm×長さ230cm以下、1枚の重さが4.2kg以下）

●電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。

■洗濯できる掛け布団

●詰め物素材が化繊(ポリエステル)100%の掛け布団
掛け布団　(シングルサイズ　幅150cm×長さ210cm以下、詰め物の重さ1.8kg以下のもの)
肌掛け布団(ダブルサイズ　　幅190cm×長さ210cm以下、詰め物の重さ1.8kg以下のもの)

●詰め物素材が羽毛の掛け布団で 、手洗イ 表示のあるもの
(例：肌掛け布団　詰め物の重さ0.5kgなど)

ご注意
●詰め物素材が羊毛、真綿、わたのものや、カバー材質が絹のものは洗わないでください。
●ほかの洗濯物を追加しないでください。

■その他洗濯できるもの

● 手洗イ 表示のベッドパット、カーテン

毛布・掛け布団の入れかた

1. 毛布、掛け布団の角から、洗濯・脱水槽に少しずつ入れます。

2. 掛け布団は中の空気を追い出すように、少しずつ入れます。

「ドライ」コースで洗濯する場合

洗濯できるもの

衣類の取扱絵表示	手洗イ 表示があるもの
	ドライ 表示があるもの

1.2kg以下

●セーター、カーディガン(ウール、アンゴラ、カシミヤなど)
●スラックス、スカート
●ブラウス、シャツ、ワンピース(絹、麻など)
●学生服、セーラー服

ご注意 ●上記以外の衣類については、衣類の取扱絵表示や洗剤の表示に従ってください。

※ ドライ 表示があっても、洗えないものがあります。➔P.14

衣類の前処理

●しみやひどい汚れは早めに処理してください。
時間がたつと落ちにくくなりますので、お洗濯前に部分洗いなどで処理をしておくとより効果的です。
●ボタンやししゅうがついている衣類は裏返にします。
●ボタンやファスナーは閉めてください。

色落ちの確認

●色落ちしそうな衣類は、あらかじめ、色落ちの確認をしてください。白いタオルなどに洗剤液を含ませ、衣類の目立たない部分に強く押し当ててタオルに色移りしないか確認してください。
色落ちがあった場合は、お洗濯しないでください。
●色落ちしやすい衣類(スカーフ、外国製の衣類など)は、十分に注意してください。

脂汚れ、しみなどを落ちやすくする

えり、そで口などの脂汚れ

●えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液をつけて、ブラシで一定方向にこすってください。

しみ

●裏にタオルを当て、洗剤の原液をつけてブラシなどで軽くたたいて落します。

洗濯後、縮みが大きくなった場合のことを考えて、元の形に修正するために型紙を取っておくと便利です。

しみの抜きかたワンポイント

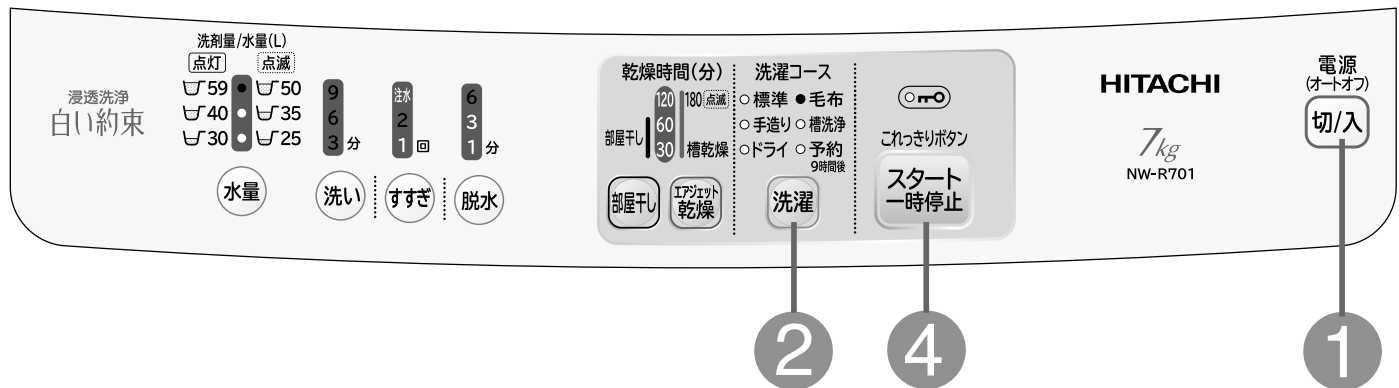
●万一、衣類にしみがついた場合は、3倍程度の洗濯液につけ置きしてください。
※上記対応でしみが抜けないときは、下記のように市販の漂白剤をご使用ください。
●漂白剤は、酸化型と還元型とに分けられ、さらに酸化型は塩素系と酸素系に分けられます。
それぞれ下記のような特徴があり、使えるものと使えないものがありますので、ご使用前に漂白剤の容器に表示してある注意書きをよくご覧になり、正しくご使用ください。

・酸化型
(1)塩素系(ハイター):漂白力、殺菌力はもっとも強いのですが、色物や毛・絹には使えません。
(2)酸素系(ワイドハイター、カラーブライト):色・柄物に使えますが、粉末の場合は毛・絹には使えません。

・還元型(ハイドロハイター)
水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、塩素系漂白剤のためにワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。

使用する洗剤について

●衣類の取扱絵表示が ドライ 表示のものは、ドライマーク衣類専用の洗剤(液体)を使用してください。
手洗イ 表示のあるものは、液体中性洗剤も使用できます。
●使用量は洗剤の表示に従ってください。
●液体中性洗剤またはドライマーク衣類専用洗剤(液体)以外は使わないでください。

毛布コースで洗濯をする

準備 水栓を開け、洗濯物を入れ、お洗濯キャップをセットする

1 切/入 を押し、**電源を入れる**

2 洗濯 を押し、**「毛布」のランプを点灯させる**

水量は自動的に「59L」になります。
お好みに合わせて設定できます。

■ 部屋干し ボタンを使用することができます。 ➔ P.38

3 **液体洗剤＊、ソフト仕上(柔軟)剤を入れて、ふたを閉める** ➔ P.18~21

＊液体合成洗剤または液体中性洗剤

■洗剤の入れかた

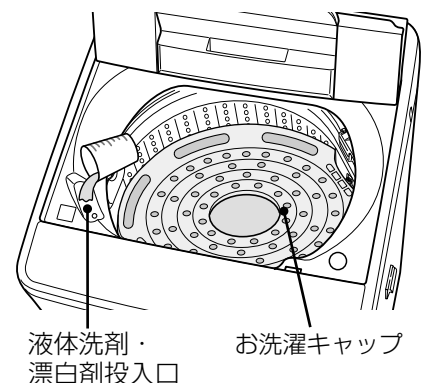
液体洗剤＊を液体洗剤・漂白剤投入口に入れる

液体洗剤・
漂白剤投入口

お洗濯キャップ

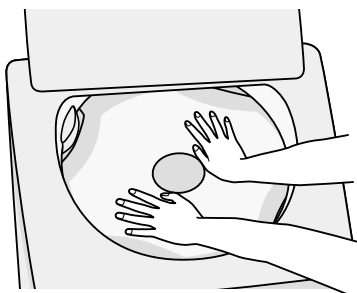
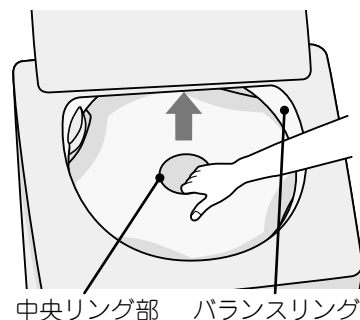
4 スタート一時停止 **を押す**

洗濯終了後、お洗濯キャップを外してください。

※洗濯・脱水槽に水が入っているときは、スタート一時停止 を押したあと、約5Lの水を排水してから給水します。

お願い ●掛ふとんのえり口など汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤＊または部分洗い用洗剤を塗布して汚れを落としてください。

お洗濯キャップの取り付けかた

1 お洗濯キャップの文字面を上にして、図のように2つ折りに曲げ、「ふとん 毛布」文字側凹部を、「洗剤トレイ」側の洗濯・脱水槽の凸部(プラスチック)に合わせる

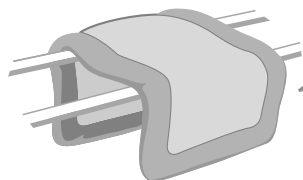
2 図のように、お洗濯キャップ全体を洗濯・脱水槽の中に入れる

3 中央リング部を持って、バランスリングのすぐ下まで引き上げる

お洗濯キャップの取り外しかた

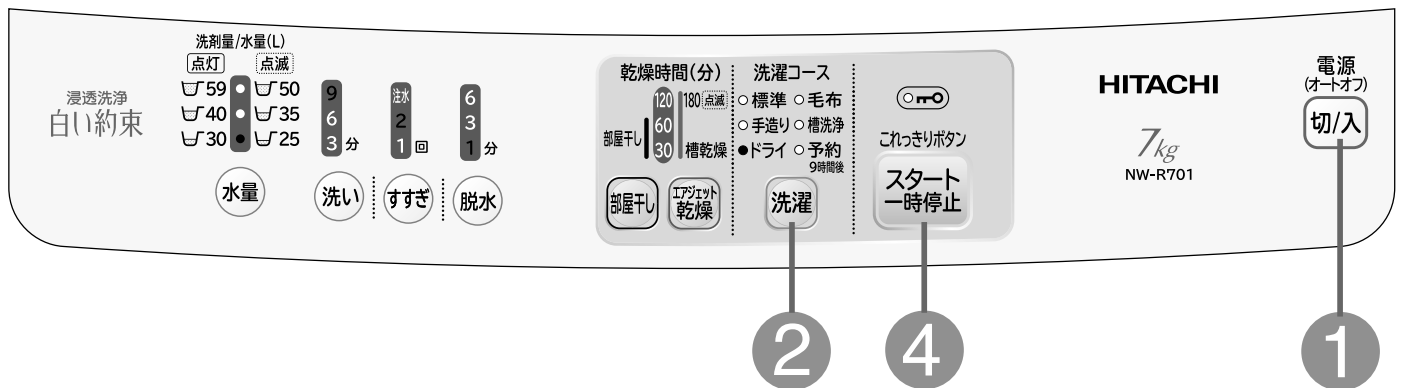
1 お洗濯キャップの手前側を押し下げる

2 中央リング部を図のように持ち、矢印の方向に曲げる

3 そのまま手前に引くように、持ち上げる

干しかた

●**風通しのよいところで自然乾燥させます。**
（掛け布団の場合は、晴天の日で約4時間かかります）

●掛け布団は時々裏返すと乾燥がより効果的です。
また、時々中の詰め物をつまんでほぐすと、ふっくら仕上がります。
●羽毛の掛け布団は、詰め物の片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。
(羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください)
●毛布は湿っているうちに、ブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。

ドライコースで洗濯をする

準備 水栓を開け、洗濯物を入れ、
お洗濯キャップをセットする

1 切/入 を押し、**電源を入れる**

2 洗濯 を押し、**「ドライ」のランプを点灯させる**

水量は自動的に「30L」になります。
選べる水量は「25～35L」です。

3 **液体洗剤＊、ソフト仕上(柔軟)剤を入れて、ふたを閉める** ➔P.18～21

＊液体中性洗剤またはドライマーク衣類専用洗剤

4 スタート一時停止 **を押す**

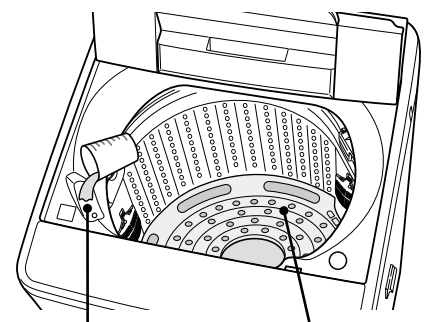
洗濯終了後、お洗濯キャップを外してください。

■「水量」の設定を変えたいときは ➔P.29

※「洗い」「すすぎ」「脱水」の設定は変更できません。

■洗剤の入れかた

液体洗剤＊を液体洗剤・漂白剤投入口に入れる

※洗濯・脱水槽に水が入っているときは、スタート一時停止 を押したあと、約5Lの水を排水してから給水します。

お願い ●お湯や風呂の残り湯は使用しないでください。
衣類の縮みが大きくなったり、入浴剤の色が移る恐れがありますので、水道水を使用してください。

ご注意 ●洗濯物の量に対して水位を低くすると、布が傷む恐れがありますのでご注意ください。

お洗濯キャップの取り付けかた、取り外しかた

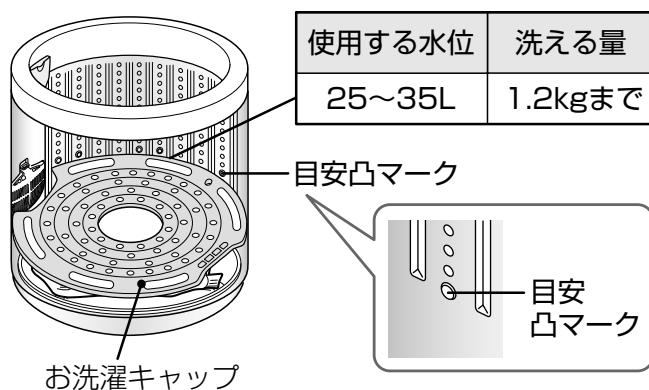
取り付けかた

お洗濯キャップの文字面を上にして、図のように2つ折りに曲げ、「ふとん 毛布」文字側凹部を、「洗剤トレイ」側の洗濯・脱水槽の凸部(プラスチック)に合わせる。

取り外しかた

取り付けたときと同じように、洗濯・脱水槽の中で2つ折りにして引き出す。

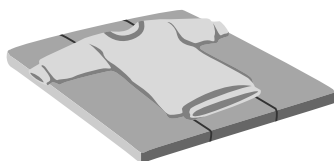
洗える目安

使用する水位	洗える量
25～35L	1.2kgまで

ご注意

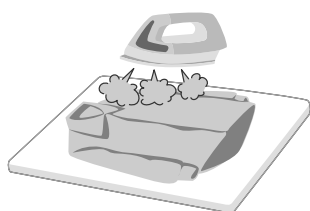
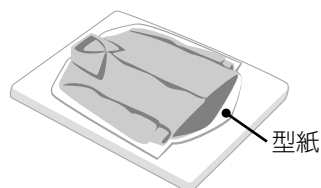
●洗濯物はきちんとたたんでから、洗濯・脱水槽に均一に入れて、お洗濯キャップでおさえてください。

干しかた

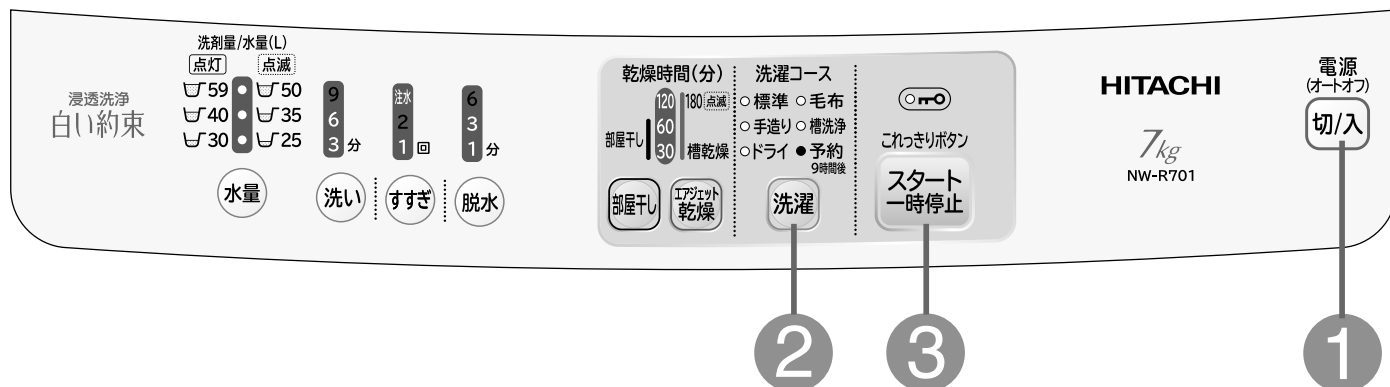
●ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーターは、形を整えて日陰で平干しにします。

●風呂のふたなどを使って平干しにすると形くずれが防げます。

●ブラウスやワンピースは形を整えて日陰でハンガーに干します。

仕上げ(縮み、形くずれの直しかた)

●スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。

●スチームをたっぷりあてたあと、型紙に合わせて元の形までのばし、形を整えます。

予約をする

■仕上がり時間を9時間後に予約できます。
出かけている間に洗いたいときや、夜間に洗って朝干したいときなどに便利です。

2 3 1

準備 水栓を開け、洗濯物を入れる

「標準」コースと同じ運転内容で洗います。

1. 切/入 を押し、**電源を入れる**

2. 洗濯 を押し、**「予約9時間後」のランプを点灯させる**

■ 部屋干し ボタンを使用することができます。➔ P.38

3. スタート一時停止 **を押す**

洗濯物の量を測定し、水量と洗剤量を表示します。

洗剤量/水量(L)
点灯 点滅
59 50
40 35
30 25

「標準」コース(水量35L)の例

4. 水量と洗剤量表示に従って、
洗剤、ソフト仕上(柔軟)剤を入れて、ふたを閉める ➔ P.18~21

洗濯内容を表示したあと、「予約9時間後」表示以外は消灯します。

○標準 ○毛布
○手造り ○槽洗浄
○ドライ ●予約
9時間後

こんなときには

●予約内容の確認

洗濯 を押す。(押している間、予約内容を表示)

●予約の取り消し

切/入 を押し、電源を切る。

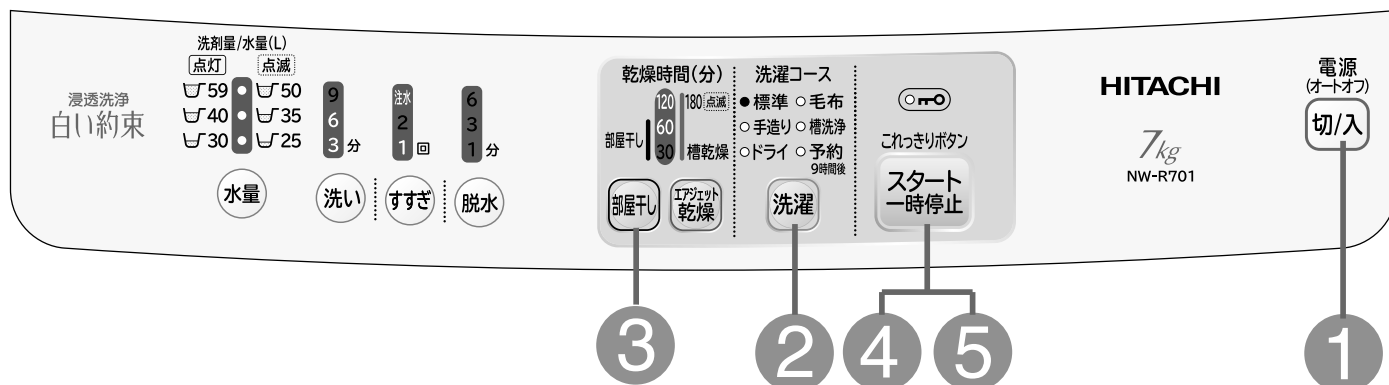
●予約の変更、衣類の追加

切/入 を押し、電源を切り、初めからやり直す。

ご注意

●**液体の洗剤はご使用できません。排水弁が開き、流れ出てしまいます。**
●**予約運転のとき、色移りしやすい衣類は一緒に洗濯しないでください。**
●電源プラグを抜いたり、停電したときは、予約運転は取り消されます。
●洗濯物の量や質、給水量により仕上がり時間がずれることがあります。
●衣類のシワ防止のため、洗濯が終わったらできるだけ早く干してください。

洗濯～乾燥をする

■洗濯から続けて脱水することにより、衣類を乾きやすい状態に仕上げます。

準備 水栓を開け、洗濯物を入れる

1 切/入 を押し、**電源を入れる**

2 洗濯 を押し、**希望のコース※のランプを点灯させる**

※使用できるコースは、「標準」「手造り」「毛布」「予約9時間後」コースです。

3 部屋干し を押し、**希望の時間のランプを点灯させる**

※ 脱水 時間のランプが全て点灯します。

「標準」「手造り」「予約9時間後」コースを選んだ場合は、

4 スタート一時停止 **を押す**

洗濯物の量を測定し、水量と洗剤量を表示します。

5 水量と洗剤量表示に従って、**洗剤、漂白剤、ソフト仕上(柔軟)剤を入れて、ふたを閉める**

➔ P.18～21

※「標準」「手造り」コースの給水については ➔ P.26、28

「毛布」コースを選んだ場合は、お洗濯キャップをセットして、➔ P.33

液体洗剤＊、ソフト仕上(柔軟)剤を入れて、ふたを閉める

➔ P.18～21

＊液体合成洗剤または液体中性洗剤

スタート一時停止 **を押す**

洗濯終了後、お洗濯キャップを外してください。

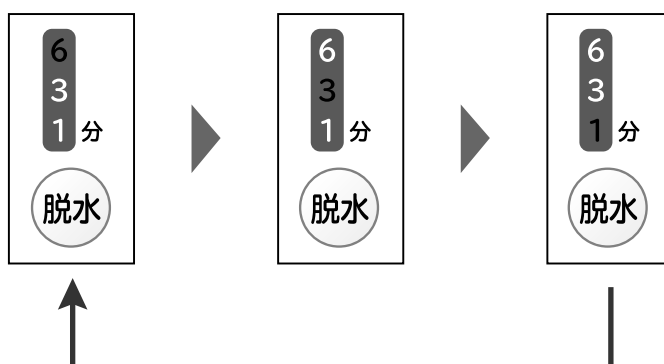
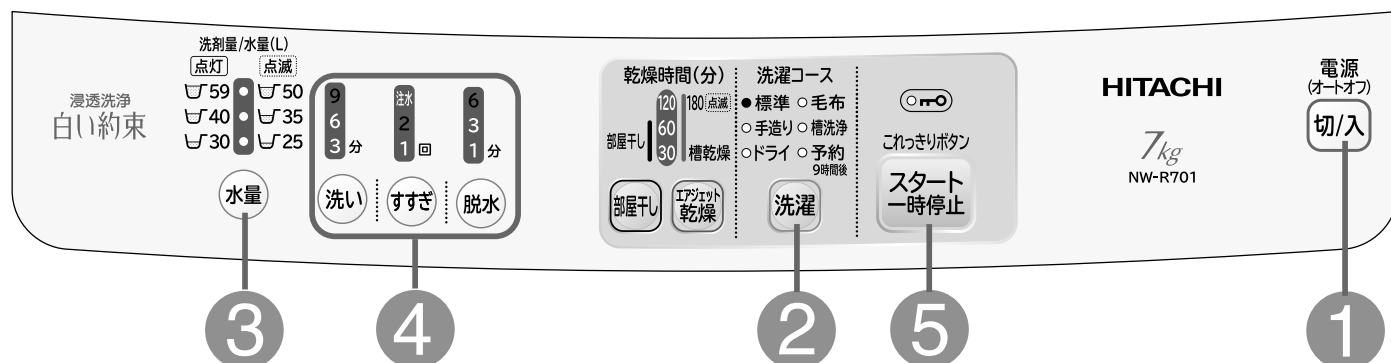
●**タイマー式乾燥のため、乾きに関係なく終了します。**洗濯物の量・種類、気温・湿度、室内の換気状態、設置環境によって乾き具合に差が出ます(乾燥していても、衣類の温度が低く、乾いていないと感じる場合があります)。特に綿100%のような厚手の衣類に乾きムラが生じることがありますが異常ではありません。そのようなときは、追加運転を行うか、天日干しをしてください。

内容の変えかた

■ 部屋干し ボタンを押すごとにランプの設定が変わります。

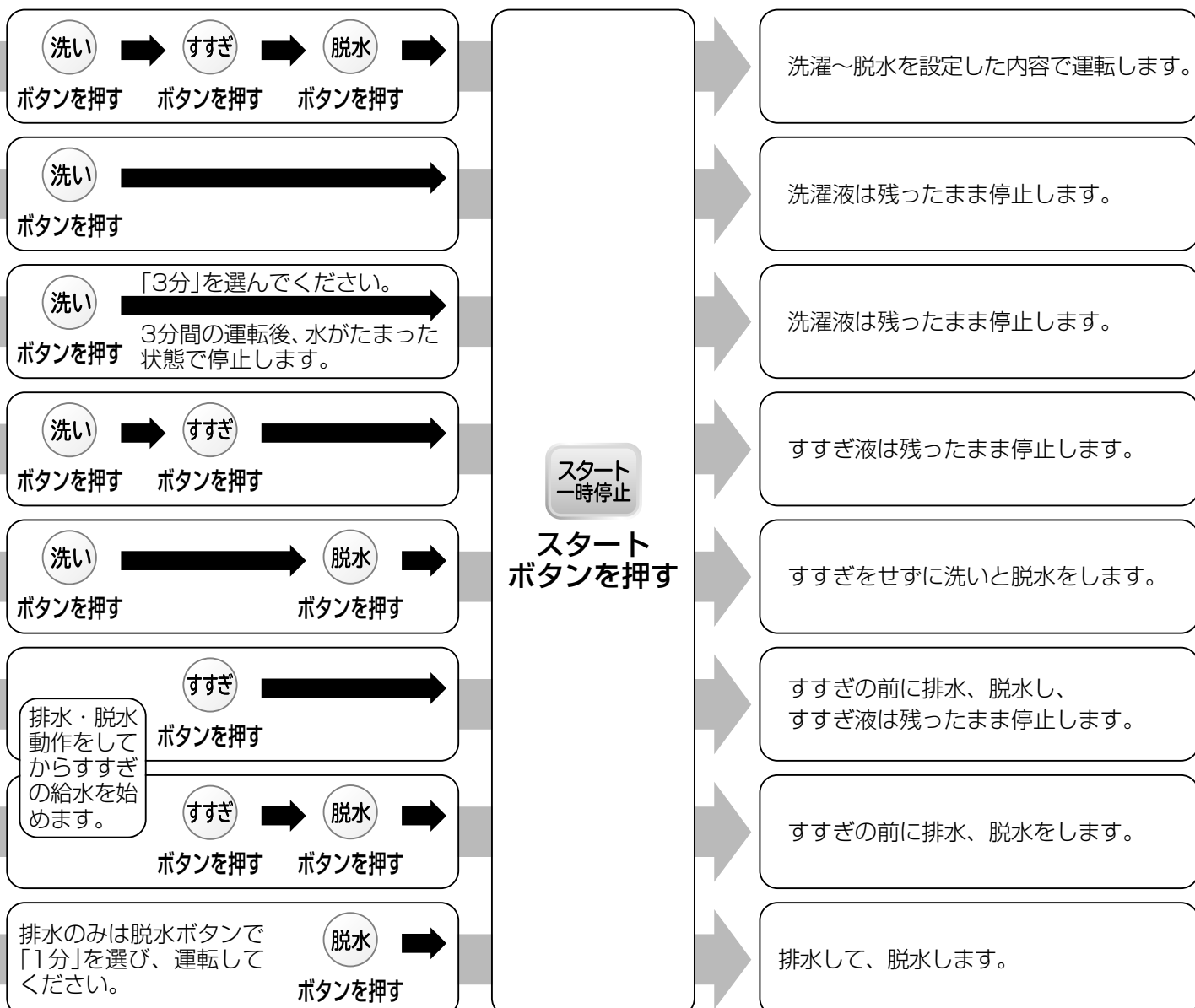
部屋干し ボタンを押すと「30」が点灯します。

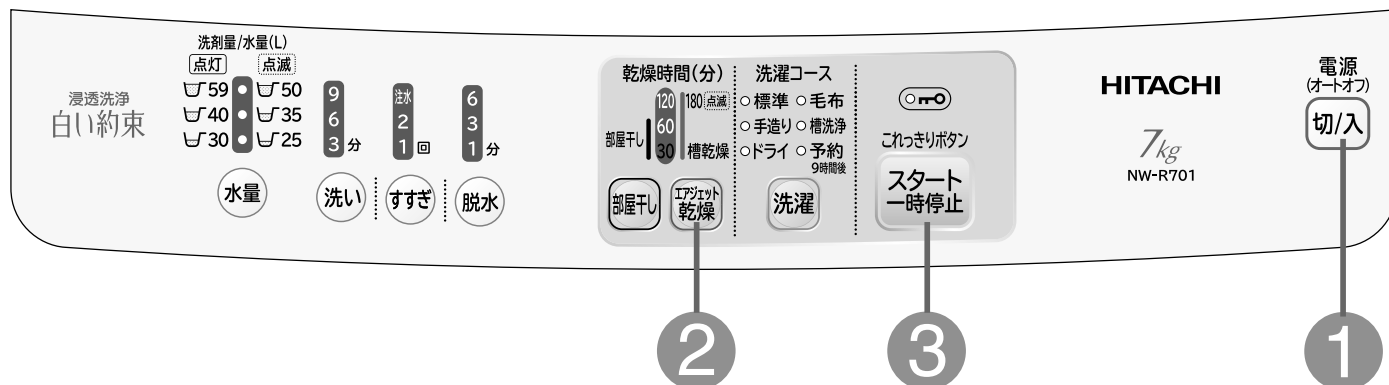
■「部屋干し」を解除するときは、洗濯 を押す、または 部屋干し を3回(未設定)押します。

■「部屋干し」運転中の 脱水 時間のランプ表示が、次のように変わります。

標準コースで部分運転をする

こんな場合に	1	2	3
お好みの内容でお洗濯するとき **洗い→すすぎ→脱水**	電源 切/入 電源ボタン「入」を押す	洗濯 洗濯ボタンで「標準」を選ぶ	水量 **水量を選ぶ** ➔P.29 ※水量の設定がないときは、自動的に決まります。
洗濯を分けて洗いたいとき **洗いのみ**			
水をためたいとき **給水→洗い**			水量 **水量を選ぶ** ➔P.29
シワが気になる洗濯物を脱水しないとき **洗い→すすぎ**			水量 **水量を選ぶ** ➔P.29 ※水量の設定がないときは、自動的に決まります。
のり付けするとき **洗い→脱水**			
洗った洗濯物をすすぎたいとき **すすぎのみ**			水量 **水量を選ぶ** ➔P.29 水量の設定がないときは「59L」になります。
洗った洗濯物をすすいで脱水したいとき **すすぎ→脱水**			
洗濯・脱水槽の水を排水したいときや、干す前に脱水したいとき **排水のみ、脱水のみ**			

■水量・洗い・すすぎ・脱水を設定したり、それぞれを組み合わせて運転することができます。
（設定内容は記憶されません）

■「標準」コース以外で部分運転をする場合も、同じ操作をします。
（できないコースもあります）

■「洗い→すすぎ→脱水」「洗い→脱水」以外の設定は、「ほぐし脱水」を行いません。

乾燥をする（エアジェット乾燥）

※ヒーターを使った乾燥ではありません。

準備 洗濯物を1 枚ずつ広げ、片寄らないように入れる

次のものは乾燥できません

● → P.14 の衣類

1 切/入 を押し、**電源を入れる**

2 エアジェット乾燥 を押し、**希望の時間のランプを点灯させる**

●乾燥時間の表示以外は消灯します。

※乾燥時間は乾燥(脱水)を行っている時間です。衣類の片寄りの修正や衣類をほぐすかくはん動作により、約5～30分時間が長くなります。

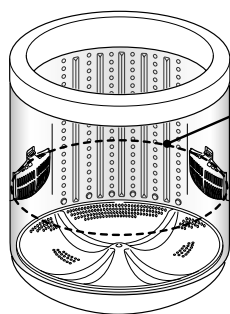
3 スタート 一時停止 **を押す**

お願い

●**タイマー式乾燥のため、乾きに関係なく終了します。**
洗濯物の量、種類、気温・湿度・室内の換気状態、設置環境によって、乾き具合に差が出ます(乾燥していても、衣類の温度が低く、乾いていないと感じる場合があります)。特に綿100%のような厚手の衣類に乾きムラが生じることがありますが異常ではありません。そのようなときは、追加運転を行うか、天日干しをしてください。

●洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、水を排水してください。→ P.40

エアジェット乾燥できる洗濯物は

■洗濯物の量：化繊約3kg

ご注意
- ●洗濯物は目安位置以上に入れないでください。洗濯物を傷める恐れがあります。
- ●洗濯物の量が多いと、乾きムラが発生したり、シワつきが多くなります。

※位置の目安は脱水後の湿った洗濯物をほぐして入れたときです。

■洗濯物の重さの目安

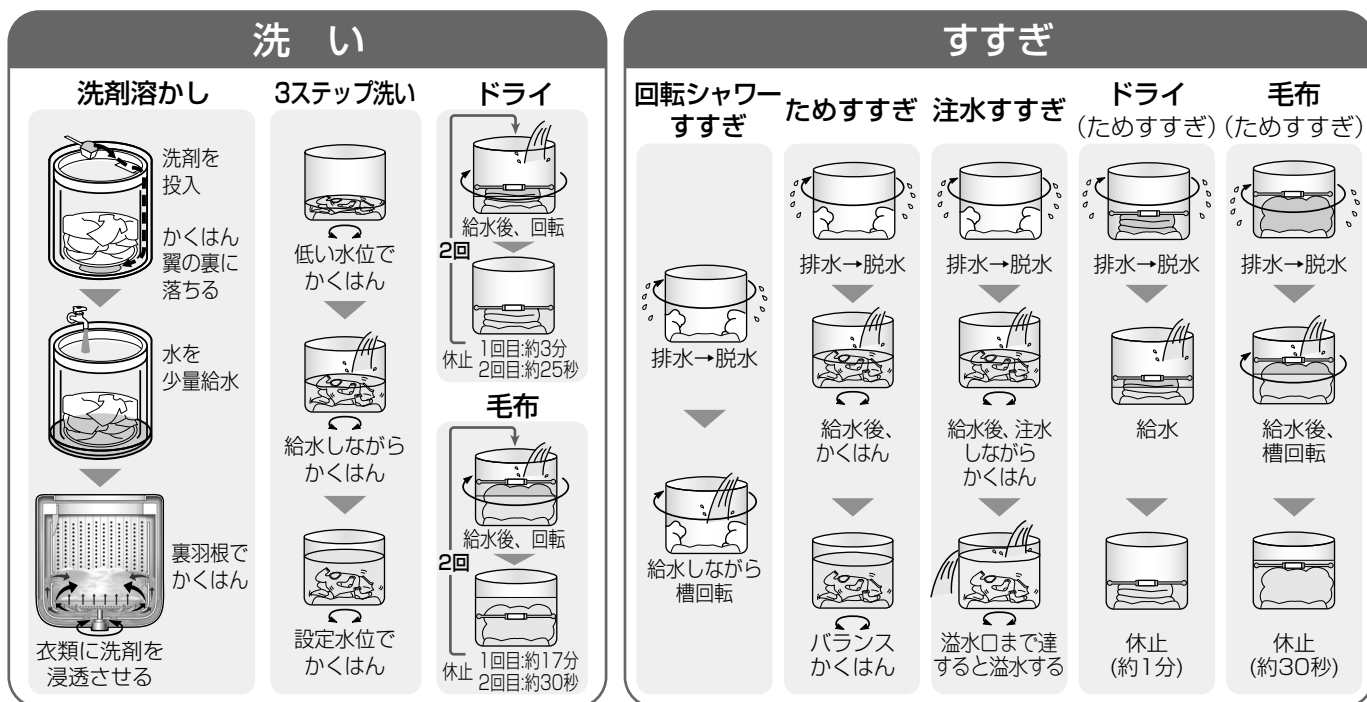
ガードル
(ウレタン入り)
(化繊：約200g)

フリーストレーナ
(化繊：約500g)

キャミソール
(ウレタン入り)
(化繊：約200g)

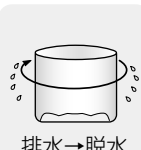
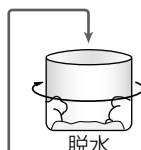
ジャージ上下
(化繊：約700g)

ご注意
- ●裏地のある洗濯物は、運転時間を長めにしてください。
- ●風による乾燥のため、運転終了時の洗濯物は温度が低いため、乾いていないと感じる場合があります。

全自動コースの運転内容と、変更できる内容

コース	水量	洗い	すすぎ 1回目	すすぎ 2回目
標準	25〜59L 25〜59L	9分 3〜12分	回転シャワーすすぎ ためすすぎ1〜3回、注水すすぎ1〜3回※1	ためすすぎ
手造り	59L 25〜59L	9分 3〜12分	ためすすぎ ためすすぎ1〜3回、注水すすぎ1〜3回※1	──
ドライ	30L 25、30、35L	9分	ためすすぎ	ためすすぎ
毛布	59L 25〜59L	25分	ためすすぎ	ためすすぎ
槽洗浄	59L	135分	ためすすぎ	ためすすぎ
予約9時間後	25〜59L 25〜59L	9分 3〜12分	ためすすぎ ためすすぎ1〜3回、注水すすぎ1〜3回※1	ためすすぎ
エアジェット乾燥	──	──	──	

※1 ためすすぎまたは注水すすぎを「1〜3回」まで設定することができます。

目安時間について

●所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。
●残時間は目安であり、実際の時間とは異なる場合があります。
●給水時間(給水量毎分15L)、排水時間を含みます。
　水道水圧、洗濯物の量、排水条件、室温により変わります。
●洗い時間、脱水時間は、実際に運転する時間とは異なる場合があります。

コースの切り替えについて

●「スタート」後は、コースの切り替えはできません。

運転内容の変更について

●「スタート」後は、「スタート/一時停止」ボタンを押して変更します(「予約9時間後」は除く)。また、「洗い」が終わると変更できません。
●給水開始から設定水位に達する間は、各ボタンの変更はできません。
●内容を変更できないコースもあります。

内容の変えかた ➔P.29

● 水量 洗い すすぎ 脱水 の各ボタンを押すごとにランプの表示が変わります。
※希望のコースにより、最初に点灯する各ボタンのランプ表示は異なります。

○ ○ ○ 運転する行程

標準設定内容
各ボタンで切り替えできる内容

脱水 洗濯	部屋干し 部屋干し設定		エアジェット乾燥	所要時間の目安 洗濯	部屋干し設定		エアジェット乾燥
6分 1～9分	30分	60分	―	46分 (23～52分)	70分 (47～76分)	100分 (77～106分)	―
6分 1～9分	30分	60分	―	37分 (23～52分)	55分 (47～76分)	85分 (77～106分)	―
1分	―		―	27分	―		―
6分 1～9分	30分	60分	―	59分 (47～62分)	83分 (71～86分)	110分 (101～116分)	―
30分	―		―	193分	―		―
6分 1～9分	30分	60分	―	46分 (23～52分)	70分 (47～76分)	100分 (77～106分)	―
―	―		30、60、120、180分	―	―		30、60、120、180分

●「標準」「予約9時間後」コースは、最終脱水終了後、洗濯物をほぐすため「ほぐし脱水」(2～4分)を行います。
ただし、洗濯物の量または、「洗い」を含まない手動設定は、「ほぐし脱水」を行いません。➔P.46
●(　)は、手動で切り替え設定したときの目安時間です。

お願い ソフト仕上(柔軟)剤を使用するときは、すすぎ2回までの設定としてください。

注水すすぎについて 注水すすぎを設定した場合、水漏れを防ぐために注水を途中で停止する場合があります。

いろいろな使いかた

ほぐし脱水を設定・解除したいとき

■脱水終了後にほぐす運転を行い(2〜4分)、洗濯物を取り出しやすくします。
(「手造り」「ドライ」「毛布」「槽洗浄」コースは除く)

工場出荷時は、「設定あり」にしています。設定を変更するときは

1. 切/入 を押し、電源を入れる
2. 洗濯 を押し、「毛布」を点灯させる
3. 脱水 を3秒以上押す

解除時	設定時
「ピッ」音でお知らせします。	「ピー」音でお知らせします。

●設定内容は記憶されます。

ボタン受付音を変更したいとき

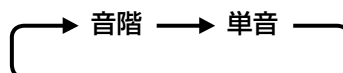
■ボタンの受付音を、音階でお知らせします。

工場出荷時は、「音階」に設定しています。設定を変更するときは

1. 切/入 を押し、電源を入れる
2. 水量 を3秒以上押す

●設定内容は記憶されます。

次のように切り替わります。

→ 音階 → 単音 →

単音設定は「ピー」音、
音階設定は「ピッ」音でお知らせします。

運転終了音を解除・設定したいとき

■運転の終了を、「ピーピーピー」の音でお知らせします。

工場出荷時は、「設定あり」にしています。設定を変更するときは

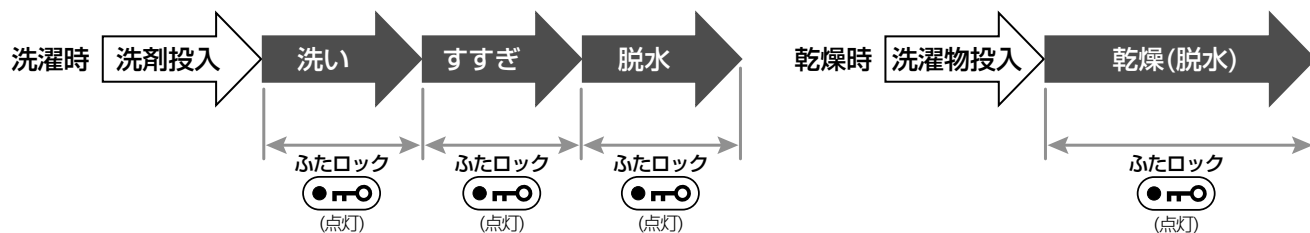
1. 切/入 を押し、電源を入れる
2. スタート一時停止 を3秒以上押す

   ※このあと、電源を入れた際に、点灯していた洗濯コースがスタートします。
3. 切/入 を押し、電源を切る

解除時	設定時
「ピッピッピー」音でお知らせします。	「ピッピッピッ」音でお知らせします。

●設定内容は記憶されます。

ふたロックについて

■安全のため、洗濯時や乾燥時は、ふたがロックされます。

ふたを開けたいときは

スタート 一時停止 を押す ➡ (消灯)

運転動作が止まるとふたロックが解除し、ランプが消灯します。(いたずら防止モード設定時は点滅します)

再スタートするときは

- ●ふたを閉めて、 スタート 一時停止 を押します。
- ●回転給水、回転シャワーすすぎ、脱水中に スタート 一時停止 を押した場合、すぐにふたがロックし、 が点灯します。
- ●洗い、すすぎのかくはん中に スタート 一時停止 を押した場合、次の脱水開始時にふたがロックし、 が点灯します。

いたずら防止モード

■洗い・すすぎのかくはん中にふたをロックするように設定できます。

工場出荷時は、「設定なし」にしています。設定を変更するときは

1. **ふたを閉め、 切/入 を押し、電源を入れる**
2. **洗濯 を押し、「標準」コースを設定する**
3. **洗い を3秒以上押す**

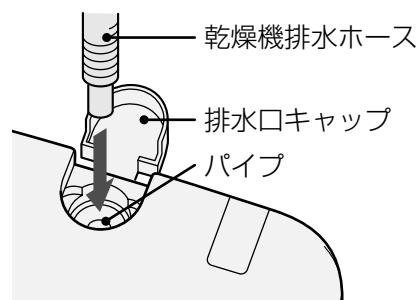
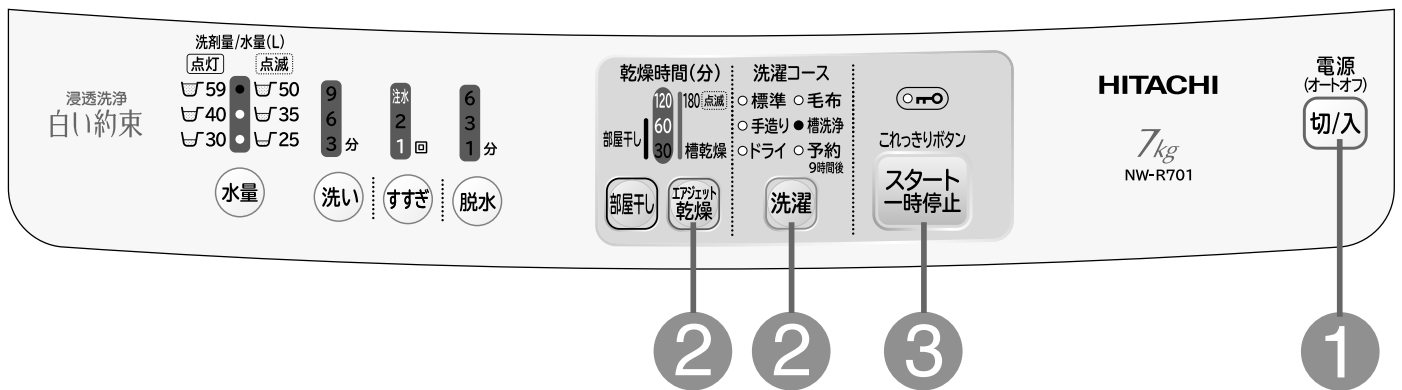
設定時	解除時
点灯	消灯
「ピー」音でお知らせします。	「ピッ」音でお知らせします。

- ●設定内容は記憶されます。
- ●途中でふたを開けたいときは、上記の「ふたを開けたいときは」の操作をします。

衣類乾燥機と組み合わせるとき

■衣類乾燥機から出る水を、洗濯・脱水槽に流します。

1. **洗濯機の右側後部の排水口キャップを開く**
2. **内部のパイプに衣類乾燥機の排水ホースを回しながら、奥まで差し込む**
3. **衣類乾燥機の排水ホースを引っ張って、簡単に抜けないことを確認する**

●本体の排水ホースを倒してご使用ください。

洗濯・脱水槽のカビを防ぐ／カビを取る

準備 水栓を開ける

1 **切/入** を押し、**電源を入れる**

2

槽洗浄	槽乾燥
洗濯 を押し、	**エアジェット乾燥** を押し、
「槽洗浄」のランプを点灯させる	**「30分(槽乾燥)」のランプを点灯させる**
水量は自動的に「59L」になります。	
洗濯槽クリーナーを洗濯・脱水槽に直接入れる	

3 ふたを閉めて、

スタート一時停止 **を押す**

カビを防ぐ

槽乾燥

30分間の乾燥運転で、洗濯・脱水槽を乾燥させ、黒カビの発生を抑えます。

定期的なお手入れ

週に一回を目安に運転してください。

カビを取る

槽洗浄

約3時間かけて、かくはんとつけおきを行い、最後に脱水します。最後の脱水は30分間運転し、洗濯・脱水槽内を乾燥させ、黒カビの発生を抑えます。

定期的なお手入れ

2か月に一度を目安に洗ってください。

市販の塩素系漂白剤500mLまたは別売りの洗濯槽クリーナーを使う。➔P.61

ご注意

- 衣類は入れないでください。
- 槽洗浄の際は、ふだんお使いの洗剤は使用しないでください。洗浄効果がありません。

「槽洗浄」の洗濯・脱水槽動作

給水

かくはん(15分)

停止(120分)

ためすすぎ2回

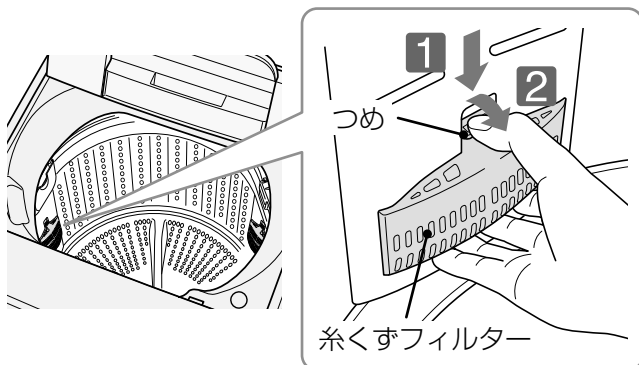
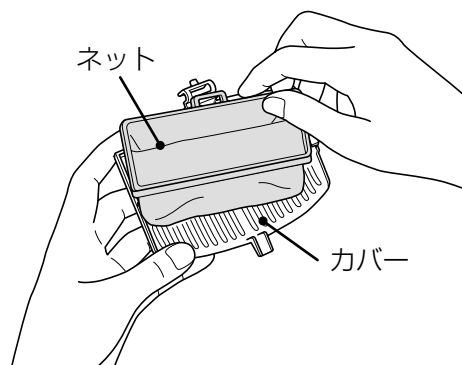
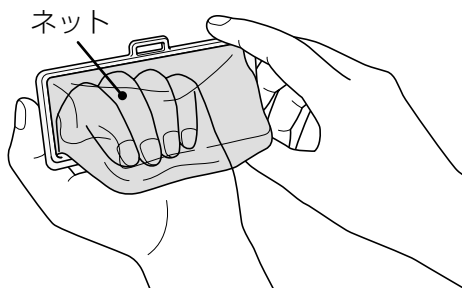
排水→脱水30分

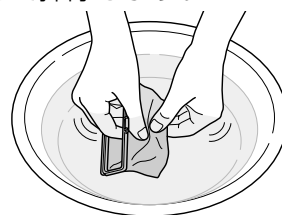
お手入れ

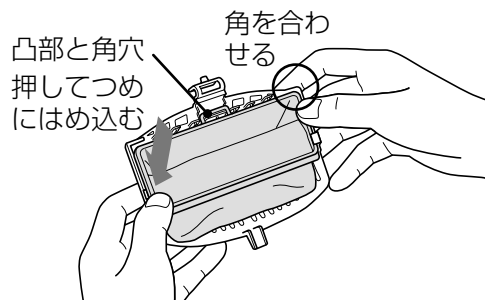
糸くずフィルター（お手入れは、洗濯ごとにします）

1 フィルターを取り出す

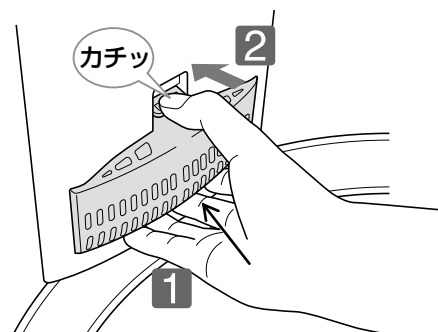
1 つめを押したまま

2 手前に倒す

2 カバーからネットを外す

3 ネットを裏返しにする

4 糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす

●目詰まりがひどい場合は、歯ブラシなどで掃除します。

5 ネットを元に戻す

●裏返したネットを元に戻します。
●凸部と角穴を合わせて、左右のつめにはめ込みます。

6 フィルターを元どおり取り付ける

1 カバー下部のつめを入れて

2 カチッと音がするまで押し込む

お願い
●糸くずフィルターは消耗品です。ネットが破れたときは、販売店でお買い求めください。
糸くずフィルター ➔P.61
(型式NET-K8KV)

ご注意
●糸くずフィルターを取り出したとき、洗濯・脱水槽のくぼみにヘアピンや硬貨などを落とさないように注意してください。
●糸くずフィルターを外した状態で洗濯をしないでください。
衣類を傷める恐れがあります。

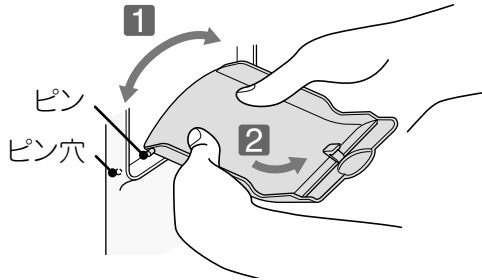
お手入れ(続き)

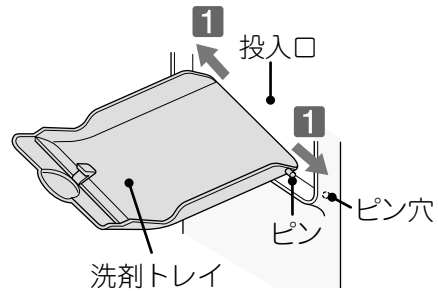
洗剤トレイ（洗剤やほこりが残っていたり、汚れていたら）

●洗剤トレイを取り外してお手入れしてください。

洗剤トレイの外しかた

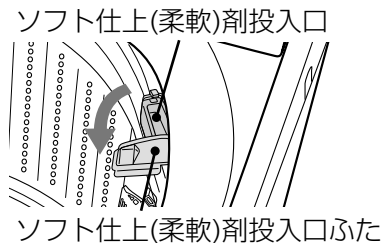
1 洗剤トレイの中央を下側から押し上げ図のようにたわます

2 ピンを片方ずつピン穴から外す

洗剤トレイの取り付けかた

1 洗剤トレイのピンを投入口のピン穴に片方ずつ差し込む

お願い
●洗剤が残っている場合は、ふき取るか水で洗い流してください。
●汚れがひどいときは、約40℃のお湯に約5分間浸し、歯ブラシなどで洗い流してください。
●洗剤トレイの水気をふき取ってください。

ソフト仕上(柔軟)剤投入口（ソフト仕上(柔軟)剤が残っていたり、汚れていたら）

1 **ソフト仕上(柔軟)剤投入口ふたを開ける**

2 **水洗いするか、しつこい汚れは歯ブラシなどで洗う**

お願い
●投入口内にソフト仕上(柔軟)剤が固まってしまったときは、約40℃のお湯で柔らかくしてから掃除してください。

本体、洗濯・脱水槽（水滴が付いたり、汚れたら）

●本体の水滴や汚れは、柔らかい布でふき取ってください。
●ふたなどのプラスチック部品や、本体外枠に洗剤やソフト仕上(柔軟)剤が付いたときも、柔らかい布でふき取ってください。
●本体各部に直接水をかけないでください。
●ベンジン、シンナー、クレンザー、アルカリ性洗剤、弱アルカリ性洗剤、ワックスなどでふいたり、たわしでこすらないでください。
●洗濯・脱水槽のさびは、市販のクリームクレンザーでふき取ってください。
金属たわしなどは使わないでください。
●ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合にはさびが発生することがあります。

ヘアピンなどの洗濯・脱水槽への長時間の接触や、鉄粉や赤さびの混じった水の使用。
洗濯・脱水槽内への塩素系漂白剤や洗剤、ソフト仕上(柔軟)剤の長期間放置。

給水口（水道水の出が悪くなったら）

1 水栓を閉めて、給水ホースを外す

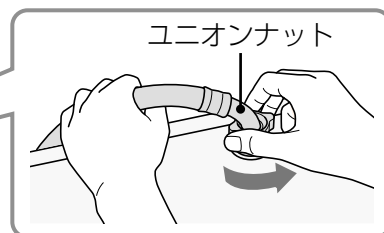
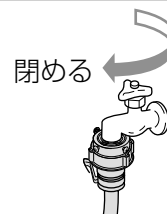
1 水栓を閉めて 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ

3 スタート一時停止 を押し、スタートする

4 約10秒間運転し、切/入 を押す

外すときの水の飛び散り防ぐためです。

5 ユニオンナットを緩め外す

2 給水口のフィルターにたまったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

●ゴミが取りにくいときは、給水口のフィルターをペンチなどで取り外して掃除してください。

●給水口のフィルターを外した場合は、元どおりに取り付けてください。取り付けないと、給水弁の故障の原因になります。

3 外した給水ホースを、元どおり取り付ける ➔ 据付説明書

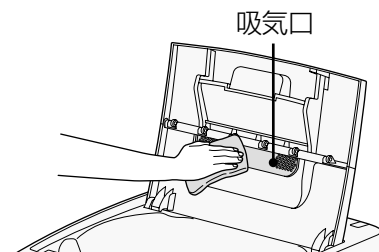
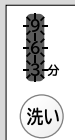
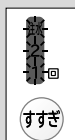
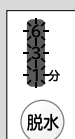
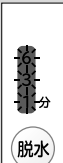
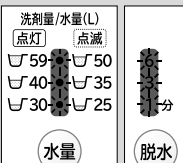
●取り付けないと、水漏れの原因になります。

吸気口（ごみが残っていたり、汚れていたら）

1 吸気口の汚れを柔らかい布でふき取る

1 ふたを開ける

2 吸気口の汚れを柔らかい布でふき取る

3 ふたを閉める

お願い ●ホコリなどが洗濯・脱水槽の中に落ちる恐れがありますので、洗濯物が入っていないときに行ってください。

お困りのときは

操作パネルにこんな表示が出たら

次のときは、表示の点滅やブザーでお知らせします。ただし、万一の誤検知が考えられますので、一時停止か一度電源を「切」にし、再びスタートさせ、同様のお知らせがでる場合は、次の点検を行ってください。

表示とお知らせ内容	確認するところ	直しかた
給水できない（40分たっても満水にならない、または約8分たっても規定水位(約10L)にならないとき）	●水栓は全開していますか。 ●水道は凍結していませんか。 ●断水していませんか。 ●給水口のフィルターにごみがたまっていませんか。	一時停止 ▼ 確認後 再スタート
排水できない（5分たっても排水が終わらないとき）	●排水ホースを確認してください。 ・排水ホースを倒していますか。 ・つぶれていませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・糸くずなどが詰まっていませんか。 ・凍結していませんか。 ・途中15cm以上高くなっていませんか。 ・延長ホースが長過ぎませんか。 ➔ 据付説明書 ●排水口(排水トラップ)を確認してください。 ・糸くずなどが詰まっていませんか。	一時停止 ▼ 確認後 再スタート
脱水できない	●洗濯物が片寄っていませんか。 ●洗濯機は水平になっていますか。 ➔ 据付説明書	一時停止し、片寄りを修正後、ふたを閉め再スタート
ふたがロックできない	●ふたが開いていませんか。 ●ふたの下に異物が入っていませんか。	確認後 再スタート
槽回転できない（洗い、すすぎ、脱水）	●洗濯物が片寄っていませんか。 ●洗濯機は水平になっていますか。 ➔ 据付説明書	一時停止し、片寄りを修正後、ふたを閉め再スタート
ふたのロックが解除できない	●ふたの下に異物が入っていませんか。	確認後、再スタート。再度ランプが点滅した場合は、修理を依頼してください

●これら以外の表示が出た場合は、外来ノイズなどの影響で正しく検知できないことがあります。電源を一度切り、もう一度やり直してください。それでも同じ表示がでたときは、使用を中止し修理を依頼してください。

■電源オートオフについて

●運転が終了すると、自動的に電源が切れます。
●次の状態で1時間以上放置すると、自動的に電源が切れます。
・一時停止の状態
・ふたを開けたままの状態
・本ページのような表示
●電源を入れ、スタートボタンを押さないで5分放置すると、自動的に電源が切れます。

音・振動について

●洗濯機の運転中は、さまざまな音がします。
　次のような音は洗濯機が正常に運転しているときに発生する音です。

運転工程	音の種類		
洗い すすぎ	**カチャ・カツカツ** クラッチの切替動作の音です	**シュー・カラカラ** 洗濯物の量を計測している音です	**ブーン・カラカラ** モーターを制御している音です
脱水	**ブーン・カラカラ** モーターを制御している音です	**ブーン** ブレーキの音です	**ブンブンブン・カチャ** クラッチの切替動作の音です
	●脱水時の回転数は段階的に上げているため、高速になると音が大きくなることがあります。 ●衣類の片寄り具合により脱水時の音や振動が大きくなることがあります。		

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

	こんなときは	確認・動作内容
音・振動	音がする 振動が気になる	**洗濯・脱水槽を動かすと、「シャワシャワ」と音がする。** ●脱水時のバランスを取るために、洗濯・脱水槽のバランスリングに入れてある水の音です。
		洗濯始めや脱水の最後に接触音がする。 ●洗濯物の量や質によっては、洗濯行程の始めや脱水行程の最後に、洗濯・脱水槽が外枠に接触することがあります。 ➔洗濯行程の始めにおこる接触音が気になるときは、洗濯物の片寄りを直してください。
		脱水終了後、接触音がする。 ●洗濯物を取り出しやすくするため、ほぐし運転を行っている音です。➔P.46
		本体が傾いたり、がたついたりしていませんか。➔据付説明書 ➔水準器の気泡が円の中に入っていることを確認してください。
		洗濯・脱水槽の中に、ヘアピンやコインなど異物がまぎれ込んでいませんか。 ➔異物を取り除いてください。
	給水音が大きい	**水栓を開けすぎていませんか。** ●水道水圧が高いと給水音が大きくなることがあります。 ➔気になる場合は、水栓を絞ってお使いください。
運転終了音	運転終了の音が鳴らない	**運転終了の音を消していませんか。** ➔運転終了の音について➔P.46
	音が聞こえにくい	●周囲の音や運転の状況により、音の聞こえやすさは異なります。

お困りのときは(続き)

	こんなときは	確認・動作内容
初めに	初めて使用するのに水が出る、濡れている(排水ホース、洗濯・脱水槽など)	●工場出荷時の性能テストの残水や、テスト後に結露した水分です。
電源(入らない・切れる・運転しない)	ボタンを押したのに運転しない	**電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。** ➔電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		予約運転を設定していませんか。 ➔予約運転について ➔P.36
	運転途中で止まっている・電源が切れる	**停電しませんでしたか。またはヒューズ、ブレーカーが切れませんでしたか。** ➔電源「入」ボタンを押し、もう一度運転し直してください。
		テレビやラジオなど、ノイズが出る機器を側に置いていませんか。 ●ノイズが繰り返し本体に入ると、電源が切れる場合があります。 ➔テレビやラジオは近づけないでください。 一度電源プラグを抜き差ししたあと、電源を入れてください。
		洗濯物が片寄っていませんか。 ●脱水時に洗濯物の片寄りを検知して、「脱水」時間と「洗濯コース」のランプが全て点滅し、運転を中断する場合があります。➔P.52 ➔洗濯物の片寄りを直すか、ほかの洗濯物を追加して再度運転してください。
	電源ボタンを「切」→「入」すると受け付けない	●電源を切ったあと約10秒間(コース表示のランプが消灯するまで)は電源ボタンを受け付けません。 ➔再度電源を入れたいときは、ランプが消灯してから電源ボタンを押してください。
表示	注水すすぎに設定していないのに「注水」ランプが点灯する	**洗濯物が片寄っていませんか。** ●洗濯物の片寄りが起きた場合、ほぐし動作を行うため、自動的に注水すすぎに切り替わります。 ➔洗濯物の片寄りを直すか、ほかの衣類を追加して再度運転してください。 洗濯物の片寄りを防ぐには ➔P.16
	スタート直後、水量の最大(「59L」)ランプが点灯する	**洗濯・脱水槽内にあらかじめ水が入っていませんでしたか。** ●衣類の量を正確に計測できないため、自動的に一番高い水位になります。 ➔洗濯・脱水槽の水を排水してから運転を開始してください。
	洗濯量に対して水位が高く(低く)表示される	●化繊、ポリエステルなどの衣類は軽いため水位が低くなることがあります。厚物などの衣類を洗濯する場合は、水位が高くなることがあります。
		洗濯物は濡れていませんか。 ●濡れた洗濯物や洗濯・脱水槽に水が残っているときは、水位が高くなります。

	こんなときは	確認・動作内容
表示	電源を切るとコースのランプが全て点灯する	**洗濯の途中で電源を切りませんでしたか。** ●洗濯の途中で電源を切ると、排水弁が閉じます。 排水弁が閉じていることをお知らせしています。
表示	「すすぎ」回数のランプが全て点滅する（排水できない）	**排水口や排水ホースが詰まっていませんか。** ●お使いの排水トラップの形状によっては、糸くずが詰まる場合があります。 ➔ 排水口は月1回程度を目安に、定期的に掃除してください。
表示	「脱水」時間のランプが全て点滅する（脱水できない）	**洗濯物が片寄っていませんか。** ➔ 一時停止ボタンを押してから、洗濯物をできるだけ広げて、洗濯・脱水槽内に入れ直してください。 スタートボタンを押すと、運転を再開します。
		タオルケットやジーンズなどの厚手の洗濯物や、洗濯ネットに入れた洗濯物を、単独で洗っていませんか。 ●単独で洗うと片寄りが起こりやすくなります。 ➔ 一時停止ボタンを押してから、ほかの洗濯物を2、3枚追加してください。 スタートボタンを押すと、運転を再開します。
		洗濯・乾燥できないものを入れて運転していませんか。 ●脱水異常振動が起こる場合があります。 ➔ 一時停止ボタンを押してから、洗濯できないものを取り出してください。 スタートボタンを押すと、運転を再開します。 洗濯・乾燥ができないもの ➔ P.14
		本体がガタついていたり、傾いた床面に設置したりしていませんか。 ➔ 水準器の気泡が円の中に入っていることを確認してください。 ➔ 据付説明書
表示	洗剤量計測後に脱水表示が増える	●衣類の量と質により、脱水時間を制御しているためです。
洗い・すすぎ	給水されない	**水栓は開いていますか。または断水していませんか。** ➔ 水栓を確認してください。
		給水口のフィルターにゴミがたまっていませんか。 ➔ 給水口のフィルターにたまったゴミを取り除いてください。 ➔ P.51
		水道、給水ホースが凍結していませんか。 ➔ 水道、給水ホースを確認してください。 ➔ P.60
		すすぎから始めていませんか。 ➔ 排水、脱水のあと、給水します。 ➔ P.40
		●洗剤などの投入のため、約1分間は給水しません。 ➔ P.20~21 「標準」「手造り」コースは、約1分の間に水量ボタンを押すと、すぐに給水します。 ➔ P.26、28

お困りのときは(続き)

	こんなときは	確認・動作内容
洗い・すすぎ	給水ホースから水漏れする	**水栓の形状は合っていますか。** ➔ 据付説明書を確認してください。 ➔据付説明書
		ワンタッチつぎての取り付けや、ユニオンナットの締め付けがゆるんでいませんか。 ➔ 据付説明書を確認してください。 ➔据付説明書
	すすぎ内容が変わる	**運転中に洗濯物の片寄りが起きませんでしたか。** ●洗濯物の片寄りを修正するために、「注水」すすぎ運転をします。 ➔ 衣類の片寄りを防ぐには ➔P.16
		洗剤を入れ過ぎませんでしたか。 ●すすぎ・脱水時に泡が多く出すぎた場合は、泡の発生を抑えるため、注水すすぎに変更します。 ➔ 洗剤は表示に従って適量を入れてください。 ➔P.19
	少量洗濯時、回転シャワーすすぎの水が洗濯物にかからない	●洗濯物の量が少ないとき、シャワーがかかりにくい場合がありますが、すすぎ性能は問題ありません。
脱水	脱水中にすすぎに戻る	**最終脱水時に洗濯物の片寄りが起きませんでしたか。** ●洗濯物の片寄りを修正するため、すすぎに戻ります。
	脱水の回転速度が変化する	●洗濯物量や片寄り具合に合わせて、洗濯・脱水槽の回転数を調整しています。
	ほぐし動作をしない	**「ほぐし脱水」の設定が解除されていませんか。** ➔ ほぐし脱水の設定・解除は ➔P.46
		●すすぎ、または「洗い」を含まない手動設定は、脱水後洗濯物のほぐし動作を行いません。
		洗濯物が多く入っていませんか。 ●洗濯物の量が多い(4kg以上)の場合は、ほぐし動作を行わないことがあります。
エアジェット乾燥	ボタンを押したのに運転しない	**洗濯・脱水槽に水が入っていませんか。** ➔ 脱水をして、水を排水してください。 ➔P.40
時間が長い	運転時間が長い	**脱水時に洗濯物の片寄りが起きませんでしたか。** ●自動で片寄りを修正する動作を行うため、運転時間が長くなったり水を多めに使用します。
		●洗濯物の布質、大きさ、気温、水温などの条件によって運転時間が変化するため、最初に表示された残時間表示は、実際の運転時間と異なる場合があります。また、残時間は運転途中に補正されるため、途中で表示が変わる場合があります。
	運転時間が長い(予約時)	●洗濯物の量や布質、給水量によって、予約の時間より運転時間が長くなる場合があります。 ➔ 予約運転について ➔P.36
	乾燥時間が長い	●ほぐし動作や洗濯物の片寄り修正により、5～30分ほど時間が長くなります。

仕上がり

こんなときは	確認・動作内容
運転後の洗濯物に洗剤残りがある	**固まった洗剤を洗剤トレイに入れていませんか。** ➔ 細かく砕いてから洗剤を入れてください。
	洗剤を洗濯・脱水槽に入れていませんか。 ●直接洗濯・脱水槽に投入すると、溶け残りが生じることがあります。 ➔ 洗剤は洗剤トレイに入れてください。 ➔ すすぎの回数を増やすか注水すすぎで運転してください。
	石けん(天然油脂)を、洗剤トレイに入れていませんか。 ●石けん(天然油脂)は洗剤トレイに入れないでください。 ➔ 石けん(天然油脂)をお使いになる場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。 ➔P.22
	洗剤を入れ過ぎていませんか。 ●洗剤の銘柄によっては、水温が低いときに溶けにくいことがあります。 ➔ 洗剤は表示に従って適量を入れてください。 ➔P.19
洗濯物の糸くずが気になる	**糸くずフィルターに糸くずがたまっていませんか。** ➔ 糸くずフィルターは、お洗濯ごとにお手入れしてください。 ➔P.49
	洗濯･脱水槽をお手入れしていますか。 ●洗濯･脱水槽の内部に、固形の汚れがたい積していることがあります。 ➔「槽洗浄」でお手入れしてください。 ➔P.48
	●色の濃い洗濯物は糸くずが目立ちます。 ➔ すすぎの回数を増やす、または注水すすぎで運転してください。 ➔ 市販の「糸くず防止用洗濯ネット」をご使用ください。 ➔P.17
汚れが落ちが悪い	**洗濯物が多く入っていませんか。** ➔ 運転するコースにより、洗濯できる容量が異なります。 使用するコースに合わせて、洗濯物の量を調整してください。
	泥や固形汚れなど、落ちにくい汚れが洗濯物に付いていませんか。 ➔ 泥汚れなど、汚れのひどい洗濯物を洗う場合は、洗い時間を長く設定するか、「手造り」コースで運転してください。 ➔P.28~29
	洗剤を洗剤トレイに入れていますか。 ●直接洗濯・脱水槽に投入すると、高濃度洗剤液を作ることができません。 石けん(天然油脂)は、洗剤トレイに入れないでください。 ➔ 洗剤は洗剤トレイに入れてください。 また、石けん(天然油脂)をお使いになる場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。 ➔P.22
洗濯物の黒ずみや黄ばみが気になる	**色の濃い洗濯物などと一緒に洗っていませんか。** ●色移りや黒ずみが目立つことがあります。 ➔ 色の濃い洗濯物など色移りしやすいものは、ほかの洗濯物と分けて洗ってください。
	ソフト仕上(柔軟)剤を入れ過ぎていませんか。 ●ソフト仕上(柔軟)剤を入れ過ぎると、黒ずみの原因になります。 ➔ ソフト仕上(柔軟)剤は表示に従って適量を入れてください。 ➔P.19
運転後の洗濯物が絞れていない気がする	●洗濯物が少ない(1～2枚や小さな衣類など)と、運転後の洗濯物が絞れていないと感じることがあります。 ➔ 気になる場合は、脱水時間を長く設定してください。

お困りのときは(続き)

	こんなときは	確認・動作内容
におい	本体からにおいがする 洗濯物ににおいがつく	●ご購入後、しばらくの間、ゴム部品などのにおいがすることがあります。使用するにつれて、におわなくなります。
		洗濯・脱水槽をお手入れしていますか。 ●洗濯・脱水槽に石けんかすや黒カビが発生すると、においの原因となります。 ➔2か月に1回程度を目安に、定期的に清掃してください。➔P.48
		洗剤やソフト仕上(柔軟)剤で、香りの強いものや、粘性の高いものを使用していませんか。 ●洗濯物ににおいがつくことがあります。 ➔においが気になる場合は、洗剤量を減らしてください。
		入浴剤の入った風呂水を使用していませんか。 ●入浴剤のにおいが洗濯物に付く場合があります。 ➔においが気になる場合は、入浴剤の入った風呂水は使用しないでください。
		石けん(天然油脂)を使用した洗剤を使用していませんか。 ●洗濯・脱水槽に石けんかすや黒カビが発生すると、においの原因となります。 ➔「槽洗浄」または「槽乾燥」運転してください。➔P.48
		排水口をお手入れしていますか。 ●排水口が詰まっていると、異臭の原因となります。 ➔排水口は月1回程度を目安に、定期的に掃除してください。
ふた	ふたが開かない	**(鍵マーク)が点灯していませんか。** ●点灯中はふたが開きません。 ➔ふたロックについて ➔P.47
		●ふたがをロックされた状態で電源を「切」にすると、ふたはロックされたままとなり、開きません。 ➔電源ボタンを入れてください。ふたロックが解除されます。
		脱水中に電源を切りませんでしたか。 ●脱水中に電源を切ると、そのあと電源を入れても、ふたがロックしたままになります。 ➔脱水の惰性回転が止まるまでは、ふたロックを解除しません。(約3～5分間)
排水口	排水口が詰まる	●お使いの排水トラップの形状によっては、糸くずが詰まる場合があります。 ➔排水口は月1回程度を目安に、定期的に掃除してください。
		●別売りの「糸くずボックス」を販売店でお買い求めください。 ➔「糸くずボックス」WLB-4 ➔P.61
結露	表示部が曇る	●お湯または水道水での運転でも環境状態によっては、蒸気や結露で表示部が曇る場合があります。 ➔洗濯・脱水槽の温度が下がると、表示部の曇りも消えます。

	こんなときは	確認・動作内容
そのほか	洗濯・脱水槽が変色する	●水や洗剤に含まれる成分が洗濯・脱水槽の表面に付着して酸化し、変色を起こす場合があります。 ➔気になる場合は、市販のステンレス専用クリーナーでふき取ってください。
	本体内部に物を落としてしまった場合	●床面に落ちていないか確認し、落ちていない場合は使用を中止し、エコーセンターへご相談ください。➔P.64
	水がたまらない(バケツなどで水を入れるとき)	電源が入っていますか。 ➔電源を入れてください。 電源を入れると排水弁が閉まり、水をためることができます。
	水が抜ける	洗濯・脱水槽に水が入っていませんでしたか。 ●ご使用時に水が入っている(約25L未満)場合は、スタート/一時停止ボタンを押すと排水します。➔P.27

操作パネルの点字内容

■操作パネルの各ボタンには、点字を付けています。下図のカタカナ表記が点字の内容です。
一部のものは省略表示になっています。

もしものとき

凍結の恐れのあるとき

1 水栓を閉める

2 電源を入れ、「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押して運転する

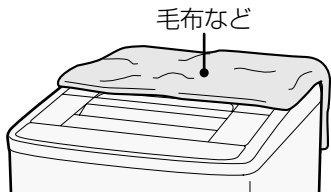
3 給水ホースを外し、下に向ける
●給水ホース内に付着した水滴がたれるので、給水ホースの先にバケツなどの容器を置くかぞうきんなどで水を受けてください。

4 約30秒間運転して一時停止ボタンを押す
●給水ホース内の残水を抜きます。

5 排水ホースを排水口に差し込む

6 「脱水のみ」を設定して、約30秒間運転する ➔P.40

7 一時停止ボタンを押してから電源を切る
●洗濯・脱水槽と排水ホース内の水を抜くためです。

寒冷地でのご使用など凍結の恐れのある場合は、本体のうしろ側（上部）を毛布などで保温してください。

もし凍結したときには

1 給水ホースを外し、約40℃のお湯につける

2 約40℃程度のお湯を、洗濯・脱水槽に5L入れ、約10分間放置する

3 給水ホースをつなぎ、水栓を開ける

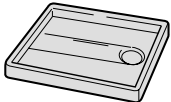
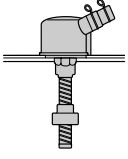
4 電源を入れ、スタートボタンを押し、放置する(給水弁を解凍します)
●通電時の熱で給水弁が解凍され、給水しはじめます。(約20分程度)

5 次の2点を確認する

1 手で洗濯・脱水槽を回せるかどうか
➡ 回せることを確認

2 電源を入れ「脱水のみ」➔P.40をスタートし、排水するかどうか
➡ 排水することを確認

※確認できない場合は、❷～❹を繰り返してください。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

本　体

型式	NW-R701
種類	全自動電気洗濯機
電源	100V、50/60Hz共用
標準洗濯容量	7.0kg（乾燥状態での布質量）
標準脱水容量	
標準水量	59L（「標準」コース）
標準使用水量	118L（「標準」コース）
消費電力	450/510W（50/60Hz）
洗濯方式	うず巻式
水道水圧	0.03～0.8MPa ｛0.3～8kgf/cm²｝
外形寸法	幅577mm×奥行530mm×高さ986mm
質量	33kg

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。価格は、2013年3月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

■お洗濯キャップ (MO-F77)
（部品番号MO-F77-001）
希望小売価格
1,260円 (税抜1,200円)

■洗濯機用トレー（YT-1）
●結露による水滴から床を守ります。
希望小売価格
7,350円 (税抜7,000円)

■糸くずフィルター（2セット入）
（型式 NET-K8KV）
希望小売価格
630円 (税抜600円)

■全自動専用設置台（UP-D3）
●本体を高くするとき、および防水パンに入らないときの設置に使用します。
希望小売価格
5,250円 (税抜5,000円)

■糸くずボックス (WLB-4)
（同梱排水ホース：長さ80cm）
●排水ホースに取り付け、洗濯中の糸くずなどを集めて取り除きます。
希望小売価格
2,100円 (税抜2,000円)

73
（単位：mm）
112
200

■洗濯機用防水パン（TP-780）
●本体からの水漏れや、結露による水滴から床を守ります。
希望小売価格
12,600円 (税抜12,000円)

■洗濯機用排水トラップ（YT-T1）
●排水口からの逆流やにおいを防ぎます。
●排水トラップの取り付けには、住宅工事の工務店などの工事が必要です。工務店にご相談のうえ、お買い求めください。
希望小売価格4,200円 (税抜4,000円)

■延長用排水ホース（約80cm）
（部品番号KW-50K1-023）
●排水ホースの延長用に使用します。
希望小売価格
840円 (税抜800円)

■洗濯槽クリーナー(SK-1)(塩素系／1500mL)
●洗濯槽に付着した石けんかすなどを落とすときに使います。
希望小売価格
2,100円 (税抜2,000円)

■直下排水L形パイプ（HO-P5）
希望小売価格
1,050円 (税抜1,000円)

●上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

保証とアフターサービス

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります)

	【設計上の標準使用期間】　7年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

・運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

・設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件

日本工業規格 JIS C9921-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	標準コース	
	給水圧力	0.03～0.8MPa	
	給湯・給水温度	20℃±15℃	
使用時間及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	標準コースの時間	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回／年	
注記：温度20℃、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。			

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

保証書(別添)

保証書は､｢お買い上げ日･販売店名｣ などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」➔ P.64 にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは　出張修理

52～59ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って､販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	全自動電気洗濯機
型　式	エヌダブリューアール701 NW-R701
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院などでタオルなどの洗濯・乾燥に、また、寮や病院などで共同でご使用になり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短期間で部品の交換（駆動部ユニット、フィルターなど）が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをおすすめします。

●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

保証とアフターサービス(続き)

愛情点検　★長年ご使用の洗濯機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	症状		ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。
	●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水漏れがする。(ホース、水槽、給水つぎて) ●こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。 ●据付が傾いたりグラグラしている。 ●電源を入れても、動かないときがある。 ●タイマーが途中で止まることがある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●そのほかの異常・故障がある。 ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。	▶		

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

修理に関するご相談はエコーセンターへ
TEL　0120-3121-68　　FAX　0120-3121-87
(受付時間) 9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日･祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ
TEL　0120-3121-11　　FAX　0120-3121-34
(受付時間) 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日･祝日)　年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

日立家電品の長期使用についてのご相談は、日立長期使用家電品相談窓口へ
TEL　0120-1454-58
(受付時間) 9:00～17:30(月～金)　土、日、祝日および、年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。
ＵＲＬ　http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiawase.html
または　日立家電修理　検索
「お問い合わせ」ページの 出張修理の Web 受付 ボタンより入力画面にお進みください。
（注）対象製品をご確認のうえお申込みください。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

このマークは、特定の化学物質(鉛･水銀･カドミウム･六価クロム･PBB(ポリブロモビフェニル)･PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル))の含有率が基準値以下であることを示しています。
(規定の除外項目を除く)　JIS C 0950：2008
詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　電話（　　）　-
ご購入年月日　　　年　　月　　日

廃棄時にご注意ください。
家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12

3-K2975-6E
C3(C)